令和４年（２０２２年）版

消防年報

鹿沼市消防本部

はしがき

1.　この年報は、令和4年度の消防事務の大要を収録したものです。

2.　消防統計については、令和4年中のものであり、その他消防情勢等については、令和5年4月1日現在のものをあらわしました。

令和5年 6月

鹿沼市消防本部

目　　次

鹿沼市消防本部の概況 …… 1
鹿沼市位置図 …… 2
鹿沼市消防本部･消防署組織図 …… 3
鹿沼市消防本部のあゆみ …… 4

第1章　総　務

1　予　算 …… 10
2　土地･施設
（1）土　　地 …… 11
（2）建　　物 …… 11
（3）工　作　物 …… 11
3　職　員
（1）消防職員の定数及び実員 …… 12
（2）消防職員の採用及び退職状況 …… 12
（3）消防職員の配置状況 …… 12
（4）消防職員の勤続年数別構成 …… 13
（5）消防職員の年齢別構成 …… 14
（6）職員研修状況 …… 15
4　消防本部･消防署の配置 …… 16

第2章　予　防

1　防火対象物
（1）建築確認同意件数 …… 17
（2）防火対象物数（150㎡以上） …… 18
2　各種申請･届出書の受理状況 …… 19
3　危険物
（1）種類別危険物施設数 …… 20
（2）倍数別危険物施設数 …… 21
4　幼年消防クラブ …… 22
5　婦人防火クラブ
（1）連合会 …… 22
（2）協議会 …… 22

第3章　警　　防

1　機械･器具
（1）　消防車両等の現勢 …… 23
（2）　主な消防隊活動資器材等保有状況 …… 24
（3）　主な救助隊活動資機材等保有状況 …… 25
（4）　主な救急隊活動資器材等保有状況 …… 26
2　消防水利 …… 27
3　通信施設
（1）　消防通信系統図 …… 28
（2）　消防緊急情報システム主要機器 …… 29
（3）　通信指令回線構成 …… 29
（4）　無線電話 …… 29
（5）　119番等受付件数 …… 30
4　気　　象
（1）　気　象　概　況 …… 31
（2）　気象通報等受理状況 …… 32

第4章　各 種 統 計

1　火災統計
（1）　月別火災統計 …… 34
（2）　月別･曜日別火災件数 …… 36
（3）　地区別火災発生状況 …… 37
（4）　過去5年間火災損害状況 …… 38
（5）　過去5年間月別損害見積額 …… 39
（6）　過去5年間月別火災件数 …… 39
（7）　過去5年間曜日別火災件数 …… 40
（8）　過去5年間風速別火災件数 …… 40
（9）　過去5年間時間帯別火災件数 …… 41
（10）過去5年間建物用途別火災件数 …… 42
（11）過去5年間原因別火災件数 …… 43
（12）過去10年間の主な火災 …… 44
2　救急統計
（1）　過去5年間年別救急統計 …… 47
（2）　月別救急統計 …… 48
（3）　年齢別救急統計 …… 49
（4）　時間帯別救急統計 …… 50
（5）　地区別救急統計 …… 51
3　救助統計
（1）　過去5年間年別救助統計 …… 52
（2）　事故種別救助統計 …… 52

4　災害統計
（1）　その他災害出動件数 …… 53
（2）　危害予防出動件数 …… 53
（3）　風水害出動件数 …… 53
（4）　PA連携出動件数 …… 54

第5章　消　防　団
1　消防団情勢
（1）　消防団員の定数及び実員 …… 55
（2）　分団別の人口･世帯数･団員数 …… 56
（3）　在職年数別消防団員数 …… 56
（4）　年齢別消防団員数 …… 56
（5）　消防団員の報酬･手当 …… 57
（6）　消防団員の出動状況 …… 57
2　消防機械器具
（1）　消防機械器具配置状況 …… 58
（2）　消防車両等配置状況の経過 …… 58
（3）　消防車両等の現勢 …… 59

第6章　水　　防
1　組　　織 …… 62
2　水防本部各班の分担事務 …… 62
3　水防資機材の備蓄状況 …… 63

鹿沼市消防本部の概況

当消防本部は、昭和26年10月1日に鹿沼市消防本部として発足し、その後当市が近隣の村々を編入合併してきたことに伴い、消防本部の管轄区域も広がってまいりました。

昭和47年4月1日には消防業務・救急業務及び研修センターの業務を共同処理するため当時の鹿沼市及び粟野町によって鹿沼地区広域行政事務組合が設立され、鹿沼市消防本部は鹿沼地区広域行政事務組合消防本部となりました。

さらに、平成18年1月1日に鹿沼市が粟野町を編入合併したことに伴い、鹿沼地区広域行政事務組合は解散し、鹿沼地区広域行政事務組合消防本部は再び鹿沼市消防本部となり、現在に至っています。

本市は、栃木県の西南に位置し、県都宇都宮市の西に隣接しており、南東部は市街地を中心とする平地、北西部は日光に連なる足尾山塊からなる山岳地帯で、面積は、490.64 ｋ㎡の広大な地域を占めています。首都東京から約100㎞、高速道路や鉄道で短時間で結ばれ、北関東における中枢都市機能の一翼を担う位置にあります。

さらに、豊かな自然とめぐまれた広大な森林地帯をもち、幾筋もの清流が肥沃な大地を潤しています。

また、市内一円に産出する鹿沼土は保水性・通気性に優れた園芸用の土として知られています。

気候は、海から離れているため寒暖の差が大きい内陸性の気候で、夏は太平洋方面から南東の風が吹き雷雨が激しく、冬は反対に大陸方面から北西の風が強く吹き、快晴の日が多く乾燥した状態が続きます。

近年は、工業団地・流通センター等において多くの企業が操業しており、首都圏と直結した高速道路を有効に活用し、今後県内の中核都市として更に発展することが期待されています。

（令和5年 4月 1日現在）

本部の位置	東経139度45分53秒　北緯36度33分49秒　海抜148.8ｍ
面積	490.64 ｋ㎡
人口	94,182 人　（住民基本台帳登録人口）
世帯数	40,399 世帯（住民基本台帳登録世帯）

鹿沼市位置図

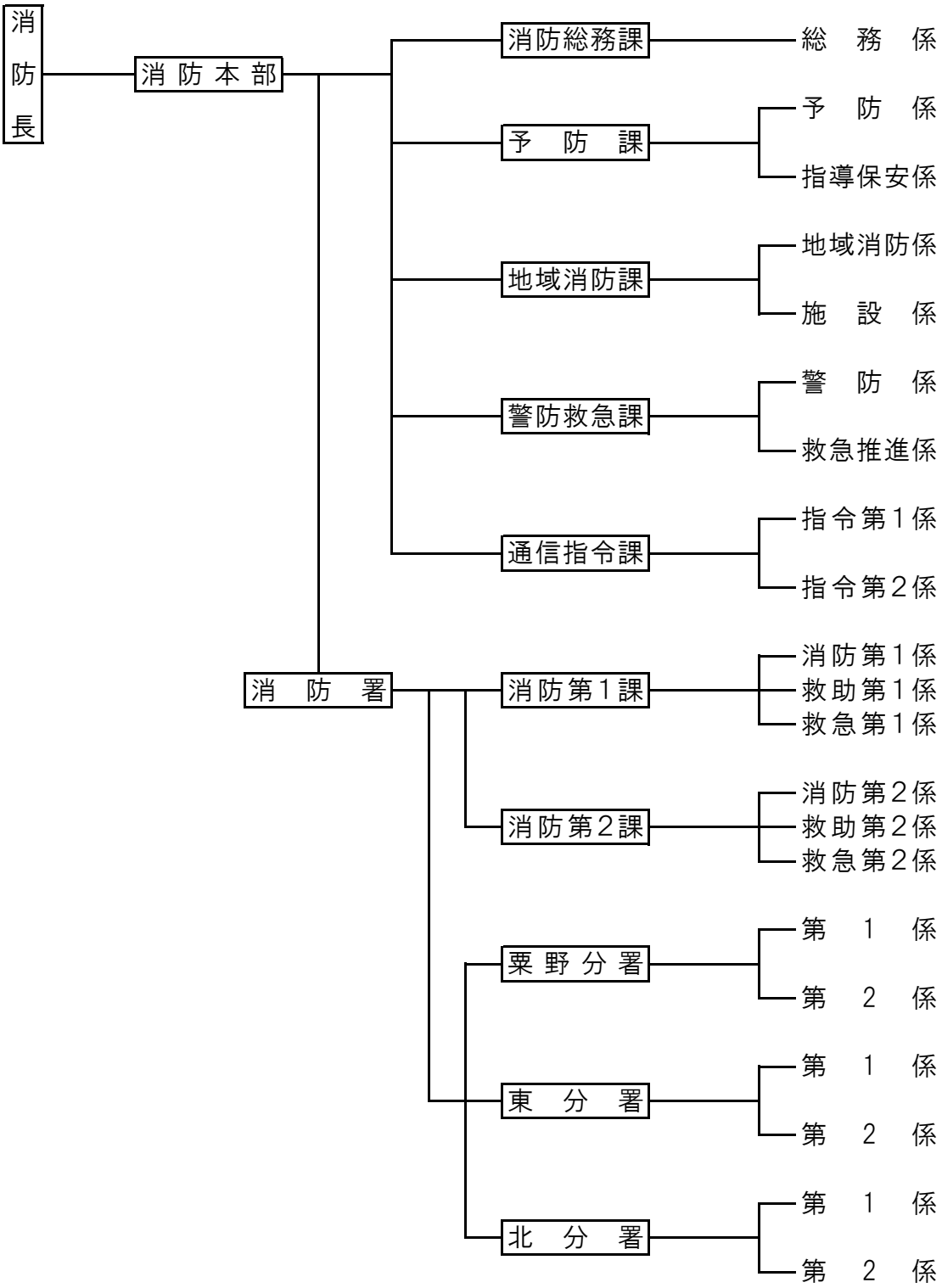
栃木県
群馬県
茨城県
埼玉県
東京都
山梨県
神奈川県
千葉県
100km

栃木県
鹿沼市

板荷
草久
横根山
▲1373
柏尾峠
上柏尾
加園
新鹿沼
鹿沼市
北分署
鹿沼
消防本部・消防署
宇都宮市
上石川
東分署
中柏尾
口粟野
粟野分署
下永野
西方町
壬生町
凡 例
消防本部
消防署
分 署

鹿沼市消防本部･消防署組織図

（令和5年 4月 1日現在）



鹿沼市消防本部のあゆみ

昭和26年	10月 1日	消防組織法第9条の規定に基づき、鹿沼市消防本部を設置 （久保町1696-1） 消防職員14名を任命、消防ポンプ自動車2台 消防職員14名を初任教養のため、栃木県消防訓練所に派遣
	10月 8日	水そう付ポンプ自動車1台を購入し、消防本部に配備した。
	11月 1日	消防本部開庁式、業務開始　各班7名
昭和27年	7月 3日	水そう付ポンプ自動車1台を購入し、消防本部に配備した。
昭和29年	10月01日	1市7村合併（鹿沼市、東大芦村、菊沢村、板荷村、北押原村、西大芦村、加蘇村、北犬飼村）
昭和30年	7月28日	南摩村を編入合併
	8月10日	南押原村を編入合併
昭和31年	1月27日	消防ポンプ自動車1台を購入し、消防本部に配備した。
昭和32年	7月20日	鹿沼市消防本部に火災専用電話（119番）設置
昭和33年	12月 9日	消防用無線開局、基地局1、移動局1（中短波）
昭和34年	7月31日	消防本部庁舎新築により移転（今宮町1692-17）
昭和35年	4月30日	望楼完成（産業文化会館塔屋）
	8月30日	消防専用電話開通（望楼～通信室）
	11月 1日	望楼監視勤務開始（24時間）
昭和36年	4月 1日	鹿沼市消防署設置（消防本部に併設） 鹿沼市役所総務課より消防事務を消防本部に移設
	12月14日	庁内放送設備を消防庁舎に設置
昭和38年	6月 1日	指令車を1台購入し、消防署に配備した。
	7月31日	無線電話増設（携帯2台）
昭和39年	11月10日	消防ポンプ自動車を1台購入し、消防署に配備した。
昭和40年	3月15日	消防職員全員にアルミックス防火衣、カバー付長靴を貸与
	11月24日	超短波無線電話設置、基地局1基、移動局2基、携帯1台
昭和41年	2月 3日	水そう付（化学併用）消防ポンプ自動車を1台購入し、消防署に配備した。
	2月23日	超短波移動局1基増設
昭和41年	3月25日	損害保険協会より消防ポンプ自動車1台寄贈され、消防署に配備した。
	3月31日	救命索発射銃及び携帯切断機を購入
	10月11日	救急自動車1台購入し、消防署に配置した。
	10月12日	救急業務開始
	11月18日	超短波無線電話移動局1基増設
	11月20日	水そう付消防ポンプ自動車を1台購入し、消防署に配備した。
昭和42年	4月28日	油圧式救助器具を購入
	5月10日	指令車を1台購入し、消防署に配備した。
	9月26日	火災速報器を通信室に設置した。
昭和42年	11月20日	水そう付消防ポンプ自動車を1台購入し、消防署に配備した。
	11月25日	消防ポンプ自動車を1台購入し、消防署に配備した。 超短波無線電話移動局3基増設
昭和43年	4月20日	消防本部加入電話増設3本
昭和43年	12月 1日	空気呼吸器2台、高圧コンプレッサー購入し、消防署に配備
	12月 5日	超短波無線電話携帯用1台増設
昭和44年	12月 1日	鹿沼警察署、消防署間に専用電話設置
昭和45年	2月12日	鹿沼ロータリークラブより救急予備車兼指令車1台寄贈された。
	5月 1日	消防本部機構改革（係制廃止、本部3担当、署2班1担当、3分隊）
	5月21日	消防庁舎新庁舎で業務開始（望楼勤務廃止）
	6月10日	消防庁舎竣工記念式典実施
昭和46年	1月23日	消防ポンプ自動車を1台購入し、消防署に配備した。
	2月 9日	無線電話1基購入

昭和46年	4月 1日	消防職員4名増員（定員53名）初めて女性消防士採用 粟野町より救急業務の委託を受け業務開始
	6月22日	粟野町役場に救急連絡専用電話を設置
	12月22日	昭和46年第7回鹿沼市議会定例会において、鹿沼地区広域事務組合設立が議決された。鹿沼市及び粟野町の消防業務及び救急業務に関する事務は、昭和47年4月1日より共同処理することに決定
昭和47年	2月28日	一斉指令装置20回線設置
	3月31日	鹿沼市消防本部、鹿沼市消防署廃止
昭和47年	4月 1日	鹿沼地区広域行政事務組合を設立(鹿沼市消防本部、鹿沼市消防署(昭和26年10月設置)は、昭和47年3月31日を以て廃止)した。 鹿沼地区広域行政事務組合消防本部及び鹿沼消防署を設置した。 消防職員55名を採用(うち51名は鹿沼市消防本部、鹿沼市消防署から移行)した。
	10月 1日	鹿沼消防署粟野分署を鹿沼市口粟野1655に開設した。 消防職員5名を採用（実員60名）した。
	12月28日	東北自動車道開通に伴い日本道路公団から救急車1台を借用し、鹿沼消防署に配備した。
昭和48年	2月 1日	消防職員5名を採用（実員65名）した。
	2月28日	鹿沼消防署粟野分署を鹿沼市口粟野854-1 に新築移転した。
	4月 1日	職員定数条例の改正により消防職員定数を88名とした。 消防職員18名を採用（実員83名）した。 鹿沼消防署東分署を鹿沼市さつき町15工業団地内に開設した。 日本道路公団から借用の救急車を返納した。
	5月 1日	鹿沼消防署救助隊（隊員20名）を発足した。
	7月 1日	消防職員2名を採用（実員85名）した。
	7月21日	日本道路公団に返納した救急車を再借用し、東分署に配備した。
	11月 7日	日本自動車工業会から救急車が寄贈され粟野分署に配備した。
昭和49年	2月 1日	消防職員2名を採用（実員87名）した。
	2月15日	鹿沼地区危険物保安協会から指令車が寄贈され鹿沼消防署に配備した。
	2月28日	消防訓練塔（東分署敷地内）が完成した。
	4月 1日	職員定数条例の改正により消防職員定数を90名とした。 消防職員7名を採用（実員90名）した。 鹿沼地区研修センターを日吉町に開設した。
	8月26日	日本道路公団から借用中の救急車が本組合に寄贈された。
	10月21日	職員定数条例の改正により消防職員定数を95名とした。
	11月21日	救助工作車を購入し、鹿沼消防署に配備した。
	12月 7日	鹿沼相互信用金庫から鹿沼市へ救急車が寄贈された。 同救急車を鹿沼市から借用し、鹿沼消防署に配備した。
昭和50年	4月 1日	消防職員6名を採用（実員94名）した。
昭和51年	4月 1日	消防職員1名を採用（実員94名）した。
昭和52年	4月 1日	消防職員2名を採用（実員94名）した。
昭和53年	2月 1日	粟野町内の電話が全域自動化されたことに伴い、119番5回線を鹿沼消防署通信指令室に集中管理した。
	4月 1日	消防職員2名を採用（実員95名）した。
昭和54年	4月 1日	職員定数条例の改正により消防職員定数を96名とした。 消防職員3名を採用（実員96名）した。
	10月 1日	携帯受令機を購入（職員40名に配備）した。
昭和55年	1月 1日	宇都宮市と消防相互応援協定を締結した。
	4月 1日	消防職員1名を採用（実員96名）した。 今市市と消防相互応援協定を締結した。
	11月18日	栃木県防災行政無線局が設置（鹿沼消防署）された。
昭和56年	3月12日	携帯受令機を購入（職員50名に配備）した。

昭和56年	4月 1日	職員定数条例の改正により消防職員定数を98名とした。 消防職員4名を採用(実員98名)した。
	5月20日	特殊災害消防相互応援協定(県内15消防本部)を締結した。
昭和57年	4月 1日	消防職員3名を採用(実員98名)した。
昭和58年	4月 1日	職員定数条例の改正により消防職員定数を100名とした。 消防職員4名を採用(実員100名)した。
昭和59年	6月19日	消防車(鹿沼消防署2台、東分署1台、粟野分署2台)に車外無線装置を取付けた。
	12月20日	火災情報案内(テレホンサービス)を設置した。
昭和60年	4月 1日	消防職員3名を採用(実員100名)した。
昭和61年	3月11日	山林火災用ホース搬送車が完成し、東分署に配備した。
	4月 1日	消防職員2名を採用(実員100名)した。
昭和62年	4月 1日	鹿沼消防署に警防第1課・警防第2課を設置した。 消防職員2名を採用(実員100名)した。 庁舎建設用地として、上殿町520－1を鹿沼市より借用した。
	11月15日	ミニ消防車「消太くん」が完成し、東分署に配備した。
昭和63年	3月 2日	大和木材㈱・第一運輸㈱から鹿沼市へ救急車とマイクロバスが寄贈された。 同救急車とマイクロバスを鹿沼市から借用し、鹿沼消防署に配備した。
	4月 1日	消防職員1名を採用(実員100名)した。
昭和64年	1月 6日	大型水そう車を購入し、鹿沼消防署に配備した。
平成元年	4月 1日	消防職員1名を採用(実員101名)した。 消防長を専任とした。
平成3年	1月31日	消防緊急情報システム(Ⅱ型)を導入した。
	2月 1日	組合事務局・消防本部・鹿沼消防署併設庁舎を鹿沼市上殿町520－1に新設移転した。
平成3年	3月27日	日本損害保険協会から本組合へ救急普及啓発広報車が寄贈され、鹿沼消防署に配備した。
	4月 1日	消防本部及び鹿沼消防署警防課を警備課に改めた。
	7月 1日	消防職員1名を採用(実員101名)した。
	7月25日	日本消防協会から本組合へ救急車(2B型)が交付され、東分署に配備した。
平成4年	4月 1日	消防職員2名を採用(実員101名)した。
	5月29日	救急救命士1名が誕生した。
	8月 1日	週休2日制が実施された。
平成5年	6月16日	消防訓練塔(鹿沼消防署)が完成した。
	11月30日	消防訓練場に照明灯2基を設置した。
平成6年	4月 1日	消防本部警備課を廃止。鹿沼消防署予防課及び警備課を廃止し、救急管理課を設置。通信指令室を通信指令課に改めた。 職員定数条例の改正により消防職員定数を110名とした。 消防職員5名を採用(実員103名)した。 防火指導員制度を導入(2名採用)した。
	5月25日	救急救命士が2名となる。
	8月 1日	栃木地区広域行政事務組合と消防相互応援協定を締結した。
平成7年	4月 1日	消防職員3名を採用(実員104名)した。
	6月 2日	(財)日本防火協会から本組合へ防火広報車が寄贈された。
	11月15日	救急救命士が3名となる。
平成8年	3月18日	高規格救急車を購入し、鹿沼消防署に配備した。
	4月 1日	職員定数条例の改正により消防職員定数を115名とした。 消防職員6名を採用(実員110名)した。
	7月 1日	女性防火指導員制度を導入(2名採用)した。
	10月 1日	消防職員委員会が発足した。
	11月29日	救急救命士が4名となる。
平成9年	3月28日	火災予防PR車「けすぞうくん」が完成し、予防課に配備した。

平成9年	4月 1日	鹿沼消防署救急管理課を廃止。消防本部警備課及び鹿沼消防署管理課を設置した。
		消防職員7名を採用(実員117名)した。
		女性防火指導員2名を採用(実員4名)した。
	12月12日	救急救命士が5名となる。
平成10年	3月13日	鹿沼消防署に高圧ガス製造施設を整備した。
	4月 1日	鹿沼消防署北分署を鹿沼市玉田町455-6 に開設した。
		消防職員1名を採用(実員117名)した。
	11月25日	救急救命士が6名となる。
平成11年	3月16日	高規格救急車を購入し、東分署に配備した。
平成11年	4月 1日	消防職員3名を採用(実員119名)した。
	5月10日	救急救命士が7名となる。
	7月 1日	女性防火指導員2名を採用(実員4名)した。
	12月 1日	救急救命士が8名となる。
平成12年	3月15日	高規格救急車を購入し、粟野分署に配備した。
	4月 1日	消防職員2名を採用(実員117名)した。
	5月 2日	救急救命士が9名となる。
	8月 1日	火災情報案内をテレドーム化にした。
	11月 9日	救急救命士が10名となる。
平成13年	3月13日	高規格救急車を購入し、北分署に配備した。
	4月 1日	消防職員2名を採用(実員119名)した。
	5月 2日	救急救命士が11名となる。
	11月20日	救急救命士が12名となる。
平成14年	3月19日	はしご消防自動車を購入し、鹿沼消防署に配備した。
	3月20日	消防本部に別棟の車庫が完成した。
	4月 1日	消防本部警備課を消防課に改めた。
		消防職員2名を採用(実員120名)した。
	5月 9日	救急救命士が13名となる。
	11月 1日	聴覚障害者用「メール119」を開設した。
平成15年	3月17日	消防庁舎にエレベーターを設置した。
	3月30日	高規格救急車を購入し、鹿沼消防署に増車配備した。
	4月 1日	消防職員4名を採用(実員122名)した。
		救急救命士が14名となる。
	5月 6日	救急救命士が15名となる。
	5月29日	消防ホームページを公開した。
	11月17日	救急救命士が16名となる。
平成16年	4月 1日	消防職員2名を採用(実員120名)した。
	4月27日	救急救命士が17名となる。
	5月13日	救急救命士が18名となる。
	10月25日	新潟県中越大震災による被災地救援のため、緊急消防援助隊栃木県隊として1隊(後方支援隊)、4名を派遣した。
	11月25日	救急救命士が19名となる。
平成17年	3月25日	高機能消防指令センターの運用を開始した。
	4月 1日	消防職員4名を採用(実員123名)した。
	5月12日	救急救命士が20名となる。
平成17年	8月22日	救急救命士が21名となる。
	11月17日	救急救命士が22名となる。
	11月28日	救急救命士が23名となる。
	12月31日	鹿沼地区広域行政事務組合を解散した。
平成18年	1月 1日	鹿沼市、粟野町が合併する。
		鹿沼市消防本部・消防署を設置した。
	4月 1日	消防職員7名を採用(実員124名)した。

平成18年	5月18日	救急救命士が25名となる。
	6月 2日	指揮2号車を消防署に配備(更新)した。
	6月 9日	救急救命士が26名となる。
	8月28日	指揮車を購入し、東分署に配備した。
	12月20日	大型水そう車を購入し、消防署に増車配備した。
平成19年	4月 1日	消防職員7名を採用(実員129名)した。
	5月 7日	救急救命士が27名となる。
	5月21日	救急救命士が28名となる。
	5月22日	救急救命士が29名となる。
	12月 5日	救助工作車を購入し、消防署に増車配備した。
平成20年	4月 1日	鹿沼市消防署東分署を鹿沼市さつき町14番地1に新築移転した。 消防職員4名を採用(実員127名)した。 災害情報メール配信を開始した。
	5月 2日	救急救命士が30名となる。
平成21年	2月24日	高規格救急車を購入し、東分署に配備した。
	3月27日	林野火災工作車を購入し、鹿沼市消防団第9分団に配備した。
	3月30日	鉄道災害時における鉄道事業者と消防機関(県内13消防本部)との連携に関する協定を締結した。
	4月 1日	消防職員3名を採用(実員127名)した。 消防本部総務課を消防本部消防総務課に改め、企画係を総務係に統合し、鹿沼市消防署救急管理課の管理係を消防総務課へ移動。 消防本部消防課に施設係を新設。消防署の課を廃止し、副署長を置く。
	5月 1日	救急救命士が33名となる。
平成22年	3月 3日	高規格救急車を購入し、粟野分署に配備した。
	4月 1日	消防職員6名を採用(実員126名)した。
	8月 1日	救急救命士が35名となる。
平成23年	3月12日	東日本大震災による被災地救援のため、緊急消防援助隊栃木県隊として3隊(消火隊、救急隊、後方支援隊)、12名を岩手県に派遣(第4次派遣部隊まで、延べ52名を派遣)した。
	3月25日	東日本大震災による被災地救援のため、緊急消防援助隊栃木県隊として2隊(救急隊、後方支援隊)、6名を福島県に派遣(第7次派遣部隊まで、延べ18名を派遣)した。
	4月 1日	消防職員5名を採用(実員126名)した。 鹿沼市消防署救急管理課、救急推進係を新設。消防署の課制を復活し、副署長を廃止。
	11月25日	高規格救急車を購入し、消防署に配備した。
平成24年	4月 1日	消防職員1名を採用(実員124名)した。
	7月 1日	消防庁舎空調設備を改修した。
	11月12日	高規格救急車を購入し、北分署に配備した。
平成25年	4月 1日	消防職員8名を採用(実員128名)した。
	6月 4日	鹿沼市消防署粟野分署を鹿沼市口粟野1913番地1に新築移転した。
平成26年	4月 1日	消防職員8名を採用(実員127名)した。
平成27年	3月25日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(CAFS付)を購入し、消防署に配備した。
平成27年	4月 1日	消防職員7名を採用(実員128名)した。 消防本部消防総務課管理係を総務係に統合し、消防本部予防課の指導係と保安係を統合し、指導保安係とした。
	3月15日	消防救急無線のデジタル化工事が完了した。(谷倉山に基地局設置) 高機能消防指令センターのデジタル対応改修が完了した。
平成28年	4月 1日	消防職員6名を採用(実員128名)した。 消防本部消防課を地域消防課に、消防係を地域消防係に改めた。

平成28年	4月 1日	消防署救急管理課を廃止し、消防本部に警防救急課を新設し、警防係と救急推進係を設置した。 消防署警防第1・2課を消防第1・2課に改めた。 消防救急デジタル無線と新高機能消防指令センターの運用を開始した。
平成29年	4月 1日	職員定数条例の改正により消防職員定数を130名とした。 消防職員5名を採用(実員128名)した。 林野火災工作車を消防本部に配置換えした。
平成30年	3月26日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(CAFS付)を購入し、北分署に配備した。
	4月 1日	消防職員2名を採用(実員128名)した。
平成31年	2月20日	高規格救急車を購入し、東分署に配備した。
	4月 1日	女性消防士2名を含む消防職員4名を採用(実員131名)した。 多言語同時通訳センターを導入した。
令和2年	3月26日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(CAFS付)を購入し、粟野分署に配備した。
	4月 1日	消防職員2名を採用(実員130名)した。
	8月 1日	NET119システムの運用を開始した。
	11月25日	高規格救急車を購入し、消防署に配備した。
令和3年	4月 1日	消防職員2名を採用(実員128名)した。
	7月19日	熱海市伊豆山土石流災害による被災地救援のため、 緊急消防援助隊栃木県隊として2隊(消火隊、後方支援隊)、6名を静岡県熱海市に派遣(第3次派遣部隊まで、延べ18名を派遣)した。
令和4年	3月28日	消防訓練塔竣工。
	4月 1日	女性消防士1名を含む消防職員4名を採用(実員130名)した。 再任用職員2名を採用した。
令和5年	4月 1日	消防職員6名を採用(実員128名)した。 再任用職員6名を採用した。

第　1　章

総　　務

1 予　算

ア 歳　入

（単位：千円）

款	令和5年度 当初予算額	令和4年度 当初予算額	比　較
使用料及び手数料	13,524	14,655	△ 1,131
国庫支出金	20,000	0	20,000
財産収入	1,331	1,331	0
諸収入	3,315	6,017	△ 2,702
歳入合計	38,170	22,003	16,167

イ 歳　出

（単位：千円）

款	令和5年度 当初予算額	令和4年度 当初予算額	比　較
常備消防費	242,145	131,243	110,902
非常備消防費	88,998	94,129	△ 5,131
水防費	204	256	△ 52
歳出合計	331,347	225,628	105,719

2　土地・施設

（1）　土　地

（令和5年 4月 1日現在）

地　目	地　　積 ㎡	所　　在　　地	用　　途
宅　地	16,389.35	鹿沼市上殿町520番地1	消防本部･消防署、訓練塔
〃	3,559.94	鹿沼市口粟野1913番地1	粟野分署
〃	2,008.34	鹿沼市さつき町14番地2	東分署
〃	2,349.00	鹿沼市玉田町455番地6	北分署

（2）建　物

（令和5年 4月 1日現在）

名　称	所 在 地	構　造	建 築 面 積 ㎡	延 床 面 積 ㎡	起　工 年 月 日	竣　工 年 月 日
消防本部 消防署	鹿沼市上殿町 520番地1	鉄筋コンクリート造 3階建	1,676.51	2,784.67	平元.10.11	平 3. 1.30 平10.3.13増築
粟野分署	鹿沼市口粟野 1913番地1	鉄筋コンクリート造 平屋建	760.99	760.99	平24. 6. 6	平25. 2.28
東分署	鹿沼市さつき町 14番地2	鉄筋コンクリート造 平屋建	740.28	740.28	平19. 5.31	平20. 3.29
北分署	鹿沼市玉田町 455番地6	鉄筋コンクリート造 平屋建	493.68	493.68	平 9. 5.28	平10. 3.30
消防本部 車庫	鹿沼市上殿町 520番地1	鉄骨造平屋建	630.75	630.75	平13.12.10	平14. 3.20
消防訓練塔主塔	鹿沼市上殿町 520番地1	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 6階建	75.54	177.88	令3.6.17	令4.3.28
消防訓練塔副塔	鹿沼市上殿町 520番地1	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 3階建	102.19	163.50	令3.6.17	令4.3.28

（3）工 作 物

（令和5年 4月 1日現在）

名　称	所 在 地	構　造	規　　模	起工年月日	竣工年月日
谷倉山デジタル無線局	谷倉山国有林内	鉄　　板	無線局建屋等　39㎡	平26. 3	平28. 3

3 職　員

（1） 消防職員の定数及び実員

（令和5年 4月 1日現在）

区分＼階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員	計
定　数	階級別内訳なし								130
実　員	1	6	20	37	30		33	1	128

（2） 消防職員の採用及び退職状況

退職者	令和4年度中	7
採用者	令和5年4月1日	6

（3） 消防職員の配置状況

（令和5年 4月 1日現在）

区分	階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員	計	(内)救急救命士	備考
消防本部	消防長	1								1		
	消防総務課		1	1	1	1			1	5		派遣 1 再任用 1
	予防課		1	1	2	2		2		8		再任用 1
	地域消防課		1	1	1	2				5		再任用 1
	警防救急課		1	1	1	2				5	3	再任用 1
	通信指令課			3	4	2		2		11	3	
	小計	1	4	7	9	9		4	1	35	6	
消防署	署長		1							1		
	消防第1課		1	3	7	7		10		28	6	再任用 1
	消防第2課			4	6	7		11		28	7	再任用 1
	小計		2	7	13	14		21		57	13	
	粟野分署			2	6	1		3		12	7	
	東分署			2	5	3		2		12	6	
	北分署			2	4	3		3		12	7	
	小計		0	6	15	7		8		36	20	
合計		1	6	20	37	30		33	1	128	39	

（4） 消防職員の勤続年数別構成

（令和5年4月1日現在）

階級別 / 年数別	消防監	司令長防	司令防	司令補防	士長防	副士長防	消防士	職員	再任用職員	合計
1年未満							6		(4)	6 (4)
1年以上							4		(2)	4 (2)
2 〃							1			1
3 〃							2	1		3
4 〃							4			4
5 〃							2			2
6 〃							4			4
7 〃					1		2			3
8 〃					3		3			6
9 〃					4		3			7
10 〃					5		2			7
11 〃					1					1
12 〃					5					5
13 〃					5					5
14 〃				1	1					2
15 〃				2	2					4
16 〃				6	1					7
17 〃				5	2					7
18 〃				4						4
19 〃				2						2
20 〃				2						2
21 〃				1						1
22 〃				1						1
23 〃				2						2
24 〃				3						3
25 〃			1							1
26 〃			1	5						6
27 〃			5	1						6
28 〃			1	2						3
29 〃			4							4
30 〃										0
31 〃			3							3
32 〃										0
33 〃										0
34 〃	1									1
35 〃			1							1
36 〃			1							1
37 〃			2							2
38 〃		1	1							2
39 〃										0
40 〃		3								3
41 〃		2								2
合計	1	6	20	37	30	0	33	1	(6)	128 (6)

※再任用職員は実員数に含まれない

（5） 消防職員の年齢別構成

（令和5年4月1日現在）

階級別／年齢別	消防監	司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員	再任用職員	合計
18 歳							2			2
19 〃							2			2
20 〃							1			1
21 〃										0
22 〃							3			3
23 〃							2			2
24 〃							3			3
25 〃							5			5
26 〃							2			2
27 〃							6			6
28 〃							4			4
29 〃							1			1
30 〃					3					3
31 〃					4		1			5
32 〃					2		1			3
33 〃					7					7
34 〃					5					5
35 〃					4					4
36 〃				4	2					6
37 〃				1	3					4
38 〃				6						6
39 〃				2						2
40 〃				1						1
41 〃				4						4
42 〃				4				1		5
43 〃										0
44 〃				5						5
45 〃				1						1
46 〃				5						5
47 〃			2	2						4
48 〃			2							2
49 〃			5	2						7
50 〃			2							2
51 〃										0
52 〃			3							3
53 〃			2							2
54 〃			1							1
55 〃			2							2
56 〃	1		1							2
57 〃										0
58 〃		3								3
59 〃		3								3
60 〃									(4)	(4)
61 〃									(1)	(1)
62 〃										
63 〃									(1)	(1)
合 計	1	6	20	37	30	0	33	1	6	128 (6)

※再任用職員は実員数に含まれない

（6） 職員研修状況

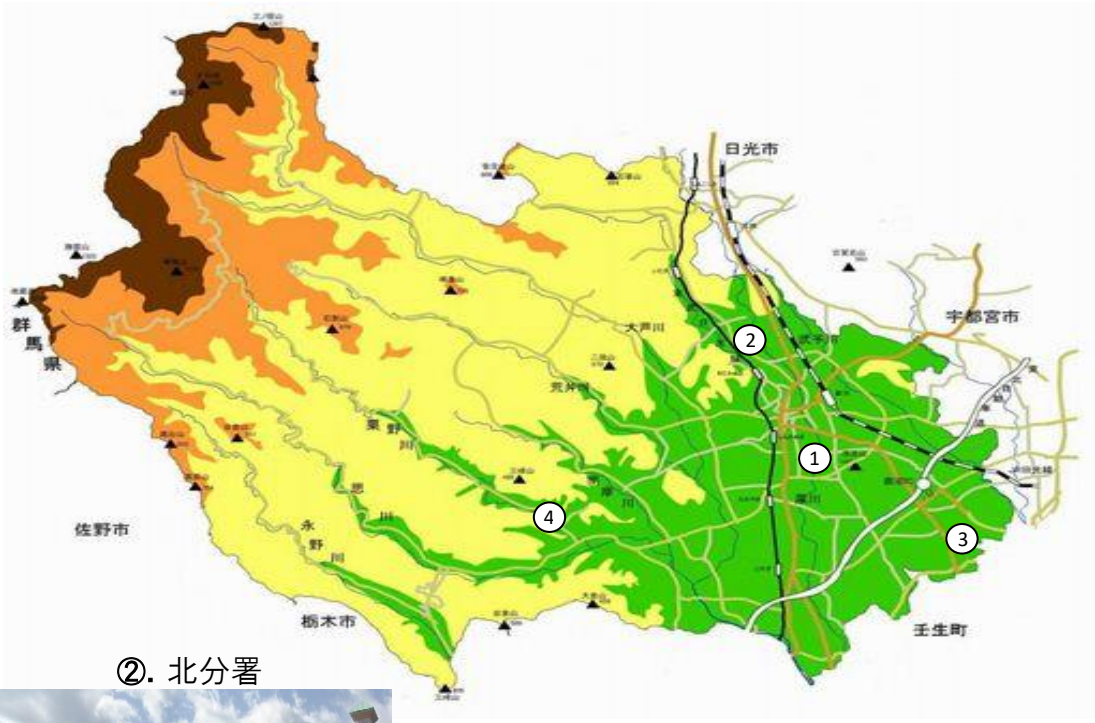
（令和4年度）

研修機関名	研修名		期間	人員
栃木県消防学校	初任教育		R4. 4. 6 ～ R4. 9.22	4
	専科教育	救助科	R4 9.26 ～ R4.10.25	2
		警防科	R5. 1.16 ～ R5. 1.27	1
		特殊災害科	R5. 1.17 ～ R5 1.25	1
		火災調査課	R5. 2. 6 ～ R5. 2.17	2
	幹部教育	初級幹部科	R5.1.30 ～ R5.2.10	1
		中級幹部科	R5.2. 13 ～ R5.2.17	1
		上級幹部科	R5.1. 31 ～ R5.2.2	1
	特別教育	水難救助科	R4.9 27 ～ R4.10.6	2
		ビデオ硬性挿管用咽頭鏡研修	R5.3.15	1
			R5.3.16	1
消防大学校	消防団活性化推進コース		R4. 9. 12 ～ R4.9. 6	1
救急救命研修所	救急救命士養成		R4. 9. 2 ～ R5.3. 13	1
	指導救命士養成		R4. 5. 24 ～ R4.7. 4	1

4　消防本部・消防署の配置

①. 消防本部・消防署

- 位　　置 鹿沼市上殿町520番地1
- 敷　地　面　積 16，389．35㎡
- 建 築 延 床 面 積 2，784．67㎡
- 構　　造 鉄筋コンクリート造3階建
- 竣 工 年 月 日 平成3年1月30日



②. 北分署

- 位　　置 鹿沼市玉田町455番地6
- 敷　地　面　積 2，349．00㎡
- 建 築 延 床 面 積 493．68㎡
- 構　　造 鉄筋コンクリート造平屋建
- 竣 工 年 月 日 平成10年3月30日

③. 東分署

- 位　　置 鹿沼市さつき町14番地2
- 敷　地　面　積 2，008．34㎡
- 建 築 延 床 面 積 740．28㎡
- 構　　造 鉄筋コンクリート造平屋建
- 竣 工 年 月 日 平成20年3月29日

④. 粟野分署

- 位　　置 鹿沼市口粟野1913番地1
- 敷　地　面　積 3559．94㎡
- 建 築 延 床 面 積 760．99㎡
- 構　　造 鉄筋コンクリート造平屋建
- 竣 工 年 月 日 平成25年2月28日

第　2　章

予　　防

1　防火対象物

(1)建築確認同意件数

（令和4年度）

区分				月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
確認申請	用途別	1	イ	劇場・映画館等													
			ロ	公会堂・集会場			1										1
		2	イ	キャバレーの類													
			ロ	遊技場等													
			ハ	風俗営業等													
			ニ	カラオケボックス等													
		3	イ	待合・料理店の類													
			ロ	飲食店			1										1
		4		百貨店・マーケット等	1			2	2		1	1	2	1	1		11
		5	イ	旅館・ホテル等													
			ロ	寄宿舎・共同住宅等													
		6	イ	病院・診療所等			1		1	1	1				2	1	7
			ロ	老人福祉施設等													
			ハ	老人福祉施設等		1			1			1					3
			ニ	幼稚園・養護学校等													
		7		小・中・高等学校等	1												1
		8		図書館・美術館の類													
		9	イ	蒸気・熱気浴場の類													
			ロ	上記以外の公衆浴場													
		10		車両の停車場等													
		11		神社・寺院・教会の類													
		12	イ	工場・作業場	3		1	1		2			1		1	1	10
			ロ	映画・テレビスタジオ													
		13	イ	自動車車庫・駐車場			1			1							2
			ロ	飛行機等の格納庫													
		14		倉庫	2	4	1	1				3	2		1	1	15
		15		前各項に該当しない事業場	3	2		5	1	3	1	5	2	3		1	26
		16	イ	複合用途（特定）				1		1	1		1				4
			ロ	上記以外の複合用途							1				1		2
		17		重要文化財													
		住宅等			3	3	1	4	6		3	3	2	3	2	4	34
		計			13	10	7	14	11	8	8	13	10	7	8	8	117
	工事別	新築			12	8	7	14	9	8	7	13	10	7	8	8	111
		増・改築			1	1			1								3
		その他				1			1		1						3
		計			13	10	7	14	11	8	8	13	10	7	8	8	117
その他の申請					3		1	1	1	2			1				9
合計					16	10	8	15	12	10	8	13	11	7	8	8	126

（2） 防火対象物数（150㎡以上）

（令和5年4月1日現在）

内訳			件数	内5階建以上
(1)	イ	劇場・映画館等	2	
	ロ	公会堂・集会場	42	
(2)	イ	キャバレーの類		
	ロ	遊技場等	9	
	ハ	風俗営業等		
	ニ	カラオケボックス等	2	
(3)	イ	待合・料理店の類	1	
	ロ	飲食店	75	
(4)	百貨店・マーケット等		168	
(5)	イ	旅館・ホテル等	19	1
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	469	27
(6)	イ	病院・診療所等	56	1
	ロ	老人福祉施設等	61	
	ハ	老人福祉施設等	99	1
	ニ	幼稚園・養護学校等	9	
(7)	小・中・高等学校等		110	1
(8)	図書館・美術館の類		8	
(9)	イ	蒸気・熱気浴場の類		
	ロ	上記以外の公衆浴場		
(10)	車両の停車場等			
(11)	神社・寺院・教会の類		23	
(12)	イ	工場・作業場	680	
	ロ	映画・テレビスタジオ	1	
(13)	イ	自動車車庫・駐車場	25	
	ロ	飛行機等の格納庫		
(14)	倉庫		497	
(15)	前各項に該当しない事業場		358	3
(16)	イ	複合用途（特定）	149	5
	ロ	上記以外の複合用途	69	2
(17)	重要文化財		3	
合計			2,935	41

2 各種申請･届出書の受理状況

（令和4年度）

区分		受付数
製造所等設置(変更)許可申請	製造所	10
	貯蔵所	11
	取扱所	28
製造所等完成検査申請	製造所	8
	貯蔵所	8
	取扱所	27
水張・水圧検査申請書		516
少量タンク（水張・水圧）検査申請		47
危険物保安監督者選解任届		52
少量危険物貯蔵・取扱届		18
防火対象物使用開始届		82
防火管理者選解任届		154
消防計画		129
消防用設備設置届		307
消防用設備等点検結果報告書		742
炉・ボイラー等設置届		15
変電・発電・蓄電池設置届		21
煙火届		25
水素ガスを充てんする気球の設置届		0
禁止行為の解除許可申請書		16
露店等の開設届出書		39
催物開催届		1
火災と紛らわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為等届		155
道路工事届		158
断水届		1
合計		2,569

3 危 険 物

(1) 種類別危険物施設数

（令和5年 4月 1日現在）

施設別			施設数
製造所			5
貯蔵所	屋内貯蔵所		73
	屋外タンク貯蔵所		77
	屋内タンク貯蔵所		7
	地下タンク貯蔵所		65
	移動タンク貯蔵所		60
	屋外貯蔵所		22
取扱所	給油取扱所	営業用	35
		自家用	53
	一般取扱所		87
	第1種販売取扱所		2
合計			486

（2） 倍数別危険物施設数

（令和5年 4月 1日現在）

施設別 / 倍数別	製造所	貯蔵所							取扱所				合計
		屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	移動タンク	屋外	計	給油	一般	第一種販売	計	
5倍以下		26	7	4	29	51	6	123	15	35	2	52	175
5倍を超え10倍以下	1	19	20	3	16		6	64	13	30		43	108
10倍 〃 50倍 〃		14	29		10	8	10	71	19	17		36	107
50倍 〃 100倍 〃		3	5		1	1		10	12	3		15	25
100倍 〃 150倍 〃			5					5	8			8	13
150倍 〃 200倍 〃	1		7		2			9	6	1		7	17
200倍を超えるもの	3	11	4		7			22	15	1		16	41
計	5	73	77	7	65	60	22	304	88	87	2	177	486

4　幼年消防クラブ

（令和5年4月1日現在）

クラブ名	クラブ員数	クラブ名	クラブ員数
茂呂保育園	107	津田保育園	49
仁神堂幼稚園	116	日吉保育園	74
まなぶ保育園	61	あづま保育園	110
青い鳥学園晃望台幼稚園	84	こじか保育園	55
青い鳥幼児園	80	西保育園	26
光太寺鹿沼ひかり幼稚園	139	南保育園	23
村井保育園	32	にっこり保育園	56
沖保育園	18	なんま保育園	12
いずみ幼稚園	76	板荷児童館	4
聖母幼稚園	52	粟野保育園	25
合　計	20クラブ	1,199名	

5　婦人防火クラブ

(1)連合会

（令和5年4月1日現在）

名　称	協議会数	会　長	副会長	役　員
鹿沼市婦人防火クラブ連合会	12	1	3	9

(2)協議会

（令和5年4月1日現在）

協議会名		単位クラブ数	クラブ員数
中　央		14	1,970
東　部		12	3,183
北　部		10	2,192
菊　沢		10	3,269
北押原		5	834
北犬飼		8	2,384
東部台		12	4,172
東大芦		6	629
加　蘇		－	－
西大芦		7	78
板　荷		9	455
南　摩		7	840
南押原		10	1,105
粟　野		－	－
合計	12協議会	110	21,111

第　3　章

警　　防

1　機械･器具

(1)消防車両等の現勢

（令和5年4月1日現在）

所属	車両名		車名		年式	馬力	備考
消防本部・消防署	消防ポンプ自動車		トヨタ	ダイナ	H22	150	A2級
	水そう付消防車		日野	レンジャー	H27	260	〃　CAFS装置搭載
		予備車	イスズ	ﾌｫﾜｰﾄﾞ	H6	195	〃
	大型水そう車	1号車	イスズ	ギガ	H18	400	〃 10,000ℓ
		2号車	ミツビシ	ｻﾞ･ｸﾞﾚｰﾄ	H1	290	10,000ℓ(小型動力ポンプB2級積載)
	はしご車		ニッサン	専用ｼｬｰｼ	H14	400	36m(艤装モリタ)
	救急車	1号車	トヨタ	ﾊｲﾒﾃﾞｨｯｸ	R2	160	高規格 R2.11.12運用開始
		2号車	トヨタ	ﾊｲﾒﾃﾞｨｯｸ	H21	150	高規格 H21.2.24運用開始
		予備車	トヨタ	ﾊｲﾒﾃﾞｨｯｸ	H23	150	高規格 H23.12.10運用開始
	救助工作車		日野	レンジャー	H19	220	
	資材搬送車		トヨタ	ダイナ	H6	115	
	林野工作車		トヨタ	ダイナ	H21	136	H29.4.1配置換えにより配備
	指令広報車		トヨタ	ﾗﾝﾄﾞｸﾙｰｻﾞｰ	H8	140	
	指揮車		トヨタ	ハイエース	H18	151	
	広報車	1号車	ダイハツ	ハイゼット	H30	53	H30.5.22寄贈
		2号車	トヨタ	ハイエース	H6	91	
	消すぞう	1号車	スズキ	キャリー	H4	42	H26に引き上げた消防団車両を改造
	査察車	1号車	トヨタ	タウンエース	H20	97	H20.5.30寄贈
		2号車	ダイハツ	ハイゼット	H16	33	H16.11.11寄贈
	事務連絡車	1号車	スズキ	エブリー	H9	50	
		2号車	ニッサン	クリッパー	H19	48	
		3号車	トヨタ	プリウス	H18	E 77 M 68	ハイブリッド
		4号車	トヨタ	クラウン	H7	180	
		5号車	トヨタ	エスティマ	H15	160	H15.5.28寄贈
	資材搬送用ダンプトラック		ミツビシ	ｷｬﾝﾀｰ	H12	125	H30　都市建設部より配置換え
粟野分署	消防ポンプ自動車		イスズ	エルフ	H7	140	A2級
	水そう付消防車		日野	レンジャー	R2	240	〃　CAFS装置搭載
	救急車		トヨタ	ﾊｲﾒﾃﾞｨｯｸ	R4	160	高規格 R4.10.6 運用開始
	指令広報車		トヨタ	ﾗﾝﾄﾞｸﾙｰｻﾞｰ	H9	140	
東分署	消防ポンプ自動車		ミツビシ	ｷｬﾝﾀｰ	H9	140	A2級
	化学消防車		ミツビシ	ﾌｧｲﾀｰ	H12	220	〃
	救急車		ニッサン	パラメディック	H31	147	高規格 H31.2.25運用開始
	指令広報車		トヨタ	ハイエース	H18	109	
北分署	消防ポンプ自動車		ミツビシ	ｷｬﾝﾀｰ	H10	140	A2級
	水そう付消防車		日野	レンジャー	H30	220	〃　CAFS装置搭載
	救急車		トヨタ	ﾊｲﾒﾃﾞｨｯｸ	H24	151	高規格 H24.11.14 運用開始
	指令広報車		ニッサン	ﾀﾞｯﾄｻﾝ	H13	110	

各所属台数は、消防本部･消防署(25台)、粟野分署(4台)、東分署(4台)、北分署(4台)

（2） 主な消防隊活動資器材等保有状況

（令和5年4月1日現在）

資 器 材 名	本 署	粟野分署	東分署	北分署	合 計
ホース　65mm	135	53	60	72	320
ホース　50mm	98	36	60	51	245
ホース　40mm	62	4	4		70
三連梯子	4	1		1	6
二連梯子	1		1	1	3
折りたたみ梯子		1			1
送排風器	1	1	1	1	4
照明器具一式	5	2	2	2	11
発電機	6	2	2	3	13
ガンタイプノズル	4	2	2	2	10
CAFS用ノズル	2	2		2	6
フォグガン	2	1	2		5
放水銃	1		1		2
消火薬液（ﾘｯﾄﾙ）	860		560		1,420
ラインプロポーショナー	1				1
低発泡用筒先	1		7		8
高発泡筒先			2		2
エアーテント	2				2
※複合型ガス検知器	1	1	1	1	4
携帯用拡声器	7	3	3	2	15
耐熱服			2		2
空気呼吸器	14	6	6	6	32
林野火災用　C－1ポンプ	5				5
林野火災用　D－1ポンプ	10				10
林野火災用　D－2ポンプ	0				0
可搬式ウインチ一式	1				1
エンジンカッター	1	1	1	1	4
チェーンソー	9	2	1	1	13
熱画像直視システム	1	1		1	3
風速計	1	1	1	1	4
個人線量計	20				20
表面汚染検査計	2				2
空間線量計	5				5

※本署、粟野分署、東分署は4成分測定可能（可燃性ガス・酸素濃度・硫化水素・一酸化炭素） 北分署は2成分測定可能（可燃性ガス・酸素濃度）

（3） 主な救助隊活動資機材等保有状況

（令和5年4月1日現在）

分類	資機材名	消防署	分類	資機材名	消防署
一般救助用器具	かぎ付はしご	2	呼吸保護用器具	簡易呼吸器	2
	三連はしご	1		防塵マスク	6
	金属製折りたたみはしご	1		送排風機	2
	空気式救助マット	1	隊員保護用器具	皮手袋	6
	救命索発射銃	2		耐電手袋	11
	サバイバースリング	2		耐電衣	2
	救助用縛帯	2		耐電ズボン	2
	平担架	1		耐電長靴	2
	ロープ	5		墜落制止用器具	5
	カラビナ	30		防塵メガネ	6
	滑車	10		携帯警報器	5
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	3		防毒マスク	5
	油圧スプレッダー	2		化学防護服	21
	可搬ウィンチ	1		陽圧式化学防護服	6
	ワイヤロープ	10		放射線個人用線量計	3
	マンホール救助器具	1	除染用器具	除染シャワー	1
	マット型空気ジャッキ一式	1		除染剤散布器	2
	大型油圧スプレッダー	1	水難救助用器具	潜水器具一式	6
切断用器具	油圧切断機	1		流水救助器具一式	14
	エンジンカッター	1		救命胴衣	25
	ガス溶断器	1		水中投光器	6
	チェーンソー	1		救命浮環	3
	鉄線カッター	1		救命ボート	1
	空気鋸	1		船外機	1
	大型油圧切断機	1	山岳救助用器具	登山器具一式	2
	空気切断機	1		バスケット担架	2
破壊用器具	万能斧	3	検索用器具	簡易画像検索機	2
	ハンマー	2	その他の救助用器具	投光器一式	2
	携帯用コンクリート破壊器具	1		携帯投光器	5
	削岩機	1		携帯拡声器	3
	ハンマドリル	1		携帯無線機	6
検知・測定用器具	※複合型ガス検知器	2		応急処置用セット	1
	有毒ガス測定器	1		車両移動器具	1
	放射線測定器	1		その他の携帯救助工具	1
呼吸保護用器具	空気呼吸器	10		緩降機	1
	空気補充用ボンベ	3		ロープ登降機	1
	酸素呼吸器	5		発電機	3

※4成分測定可能（可燃性ガス・酸素濃度・硫化水素・一酸化炭素）

（4） 主な救急隊活動資器材等保有状況

（令和5年4月1日現在）

資　器　材　名	消防署	粟野分署	東分署	北分署	合　計
自動体外式除細動器（AED）	5	2	2	2	11
観察用モニター	3	1	1	1	6
電動式吸引器	6	1	2	2	11
自動式人工呼吸器	3	1	1	1	6
固定用酸素吸入装置	3	1	1	1	6
携帯用酸素吸入装置	4	2	2	2	10
陰圧式固定ギブス	2		1	1	4
止血帯	15	8	5	5	33
携帯用血圧計	9	4	3	2	18
携帯用パルスオキシメーター	4	2	1	1	8
全脊柱固定用バックボード	5	2	3	2	12
メインストレッチャー	3	1	1	1	6
スクープストレッチャー	3	1	1	1	6
イーバックチェア	1			1	2
移動用布担架	4	1	1	1	7
ポーターマット	5	1	1	2	9
車外救出用破壊器具（一式）	3	1	1	1	6
高圧蒸気滅菌器	1	1	1	1	4
消毒室	1	1	1	1	4
救急隊員教育用人形	5	1	1	1	8
救急自動車用電話	2	1	1	1	5
新生児搬送用保育器	1				1
スマートフォン	2	1	1	1	5
ビデオ喉頭鏡	3	1	1	1	6
患者隔離型搬送バック	2	1	1	1	5
エアロゾルカバーフレーム	2	1	1	1	5
オゾン水生成装置	1				1
オゾンガス発生装置	1	1	1	1	4
自動心臓マッサージ器		1			1

2 消防水利

（令和5年4月1日現在）

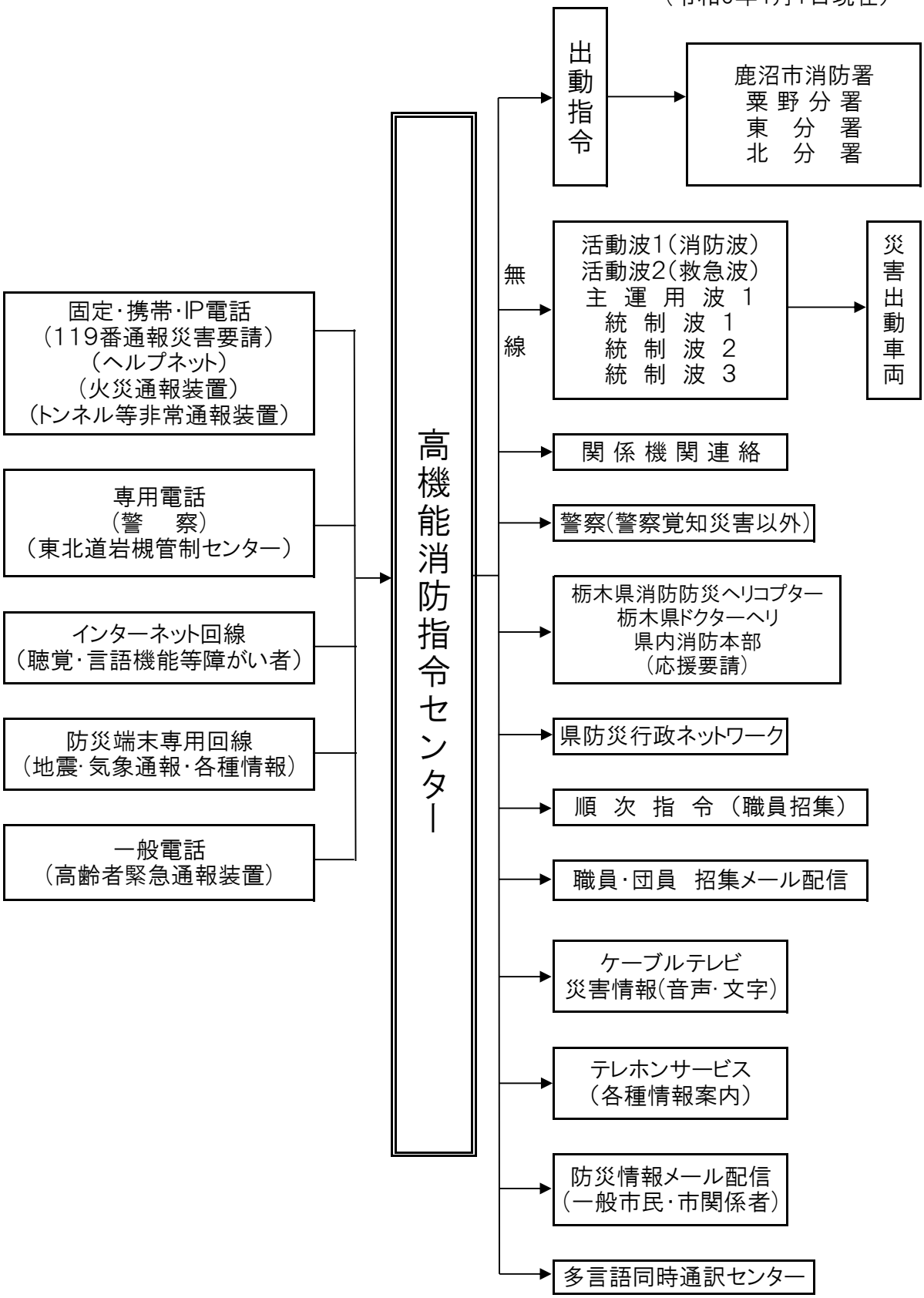
区分 / 地区別	消火栓 公設 地上式 単式	消火栓 公設 地上式 複式	消火栓 公設 地下式 単式	消火栓 公設 地下式 複式	消火栓 公設 計	防火水そう 公設 10㎥級	防火水そう 公設 20㎥級	防火水そう 公設 30㎥級	防火水そう 公設 40㎥級	防火水そう 公設 50㎥級	防火水そう 公設 60㎥級	防火水そう 公設 70㎥級	防火水そう 公設 100㎥ 級	防火水そう 公設 100㎥ 兼飲料用水	防火水そう 公設 計	防火井戸	合計
鹿沼			326	3	329	2	25	1	(9) 19	3	1		(4) 4	(2) 2	(15) 57		386
菊沢			197		197		21		(11) 28						(11) 49		246
北押原			174		174		26		(4) 8					(1) 1	(5) 35		209
北犬飼			248		248		16	1	(17) 30						(17) 47		295
東部台	1		116		117		10		(2) 12				(1) 1		(3) 23		140
東大芦			68		68		6		2						8		76
加蘇			33		33		11		(1) 5						(1) 16		49
西大芦							1		(4) 18						(4) 19		19
板荷			6		6		5		(3) 17						(3) 22		28
南摩			60		60		4		(12) 17						(12) 21	4	85
南押原			101		101		15		(4) 10						(4) 25	1	127
粟野	1		44		45		(1) 11	1	(5) 15	3		4			(6) 34	2	81
粕尾			25		25		2		(2) 8	2		4			(2) 16		41
永野			29		29		2		(2) 9	1		(2) 6			(4) 18		47
清洲			71		71		6		(6) 18			1			(6) 25	2	98
合計	2		1,498	3	1,503	2	(1) 161	3	(82) 216	9	1	(2) 15	(5) 5	(3) 3	(93) 415	9	1,927

（ ）内数は耐震性防火水そう数

3 通信施設

（1） 消防通信系統図

（令和5年4月1日現在）



（2） 消防緊急情報システム主要機器

（令和5年 4月 1日現在）

機器名称			数量	備考
通信指令課	指令台	自動出動指定装置 地図検索装置 支援情報装置	3席	Ⅱ型（富士通ｾﾞﾈﾗﾙHA-4180DMA）補助受付機能3席
		音声合成装置	1式	
		指令情報送信装置	1式	
		車両運用表示盤	1面	管理車両27台
		支援情報表示盤	1面	
		多目的情報表示装置	1面	
		順次指令装置	1式	
		遠隔制御装置	7台	6波（活動波2波・主運用波1波・統制波3波）
		道路地図メンテナンス装置	1式	
		データ修正装置	1式	
		システム監視装置	1式	
		無線監視装置	1式	
		聴覚・言語機能等障がい者用パソコン	2台	メール119用1台、NET119用1台
消防署 各分署		署所端末装置	4式	指令電話　パソコン　プリンタ
		車両運用端末装置	26台	AVM（Ⅲ型19台・Ⅱ型7台）

（3） 通信指令回線構成

（令和5年 4月 1日現在）

回線名		数量	回線名	数量
指令台	119番通報回線	4	東日本高速道路㈱専用回線（東北自動車道）	1
	119番転送回線	2	指令専用回線	6
	指令回線	4	車両動態用専用回線	1
	順次指令回線	4	消防情報案内回線	1
	発信専用回線	2	電話ファックス回線	3
	無線受付回線	2	監視装置回線	4
	メンテナンス接続回線	1	ヘルプネット	1
	庁内放送回線	1		
	119番衛星迂回回線	1		
	警察専用回線	1		

（4） 無線電話

（令和5年 4月 1日現在）

所属	区分／種別		出力（W）	局数	周波数内訳台数 活動波 消防波	活動波 救急波	共通波 主運用波	共通波 統制波
消防本部	基地局	活動波	5	2	1	1		
		共通波	16	4			1	3
	陸上移動局		10	4	陸上移動局は、全ての周波数を実装（活動波2波・主運用波7波・統制波3波）			
	〃		5	5				
消防署	陸上移動局		10	7				
	〃		5	22				
粟野分署	陸上移動局		10	5				
	〃		5	4				
東分署	陸上移動局		10	5				
	〃		5	4				
北分署	陸上移動局		10	4				
	〃		5	5				

署活動用無線機

所属	区分／種別	出力（W）	局数	周波数内訳台数 署活動波1	署活動波2	関東共通波	防災相互波
消防本部	陸上移動局	1	5	5	5	5	5

(5)119番等受付件数

（令和4年中）

覚知方法 ＼ 災害等別		火災	救急	救助	災その他害	重複	いたずら	間違い通報	管外転送	病院問合せ	照会	試験	通報訓練	その他	合計
119受付	固定電話	9	901	3	6	44		78		93	302	224	61		1,721
	携帯電話	31	1,915	41	19	155	5	188	69	238	63	44	62		2,830
	IP電話	8	1,388	10	3	35		20	7	90	22	255	23		1,861
	転送受信 ＊ 他消防本部から転送されたもの	2	66	7	1	7		10	1	10	12				116
119以外	一般加入	7	146	3	15								14		185
	警察専用	7	129	19	23										178
	高速専用	3	2	1											6
	駆け込み		24												24
	無線		19	2	16										37
	メール														
	NET119														
	その他		1												1
合計		67	4,591	86	83	241	5	296	77	431	399	523	160		6,959

4 気　象

(1)気象概況

（令和4年中）

区分 ＼ 月別		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
気温(℃)	最高	11.4	15.0	24.4	28.5	32.6	37.3						
	最低	−8.0	−7.8	−4.3	−2.0	5.4	11.6						
	平均	1.3	2.4	8.5	13.7	17.3	21.6						
湿度(%)	最高	99.4	98.8	99.1	99.1	99.1	99.1						
	最低	17.4	16.3	9.1	17.4	19.7	34.7						
	平均	66.7	64.9	69.6	77.0	77.2	82.3						
風速(m/s)	最大	23.7	22.4	21.2	15.9	17.0	14.8	15.2	13.9	20.7	11.2	11.4	21.0
	平均	2.0	2.3	2.3	2.1	2.1	2.1	2.0	1.9	1.9	1.7	1.5	2.0
気圧(Hp)	最高	1008.7	1010.2	1015.2	1013.8	1007.2	1003.1						
	最低	978.7	981.4	975.5	984.8	981.0	977.7						
	平均	998.0	999.0	998.0	999.8	996.3	993.8						
最多風向		北	北	北	南	南	南	南	南	南	北北西	北北西	北
総降雨量(mm)		5.0	25.0	76.0	125.5	170.0	116.0	250.0	119.0	292.5	91.0	62.5	36.5

備考　令和4年7月31日　22時40分頃に発生した落雷により気象観測装置が故障。その為、7月以降の気温、湿度、気圧は測定不能。

（2） 気象通報等受理状況

（令和4年中）

区分	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
特別警報	大雨													0
	大雪													0
	暴風													0
	暴風雪													0
小計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
警報	大雨							1		1				2
	洪水													0
	暴風													0
	暴風雪													0
	大雪													0
小計		0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
注意報	大雨					1	1	6	3	4				15
	洪水					1		1	2	2				6
	強風	2	2	6	1				1	1		1	3	17
	風雪													0
	大雪		2	1										3
	雷	1	1	3	3	7	19	16	16	6	1		1	74
	濃霧	3	2	6	7	11	6	6	7	4	7	17	6	82
	乾燥	2	3	7	2	1					1	1	5	22
	なだれ													0
	低温	11	6											17
	霜			2	7	1								10
	着雪		2	1										3
	着氷													0
小計		19	18	26	20	22	26	29	29	17	9	19	15	249
情報	栃木県気象情報	18	20	10	1	4	21	50	32	17	1		12	186
	異常天候早期警戒情報													0
	栃木県・関東甲信地方注意情報						14	8	3					25
	土砂災害警戒情報													0
小計		18	20	10	1	4	35	58	35	17	1	0	12	211
火災気象通報		41	30	31	10	1				3	1	1	22	140
計		78	68	67	31	27	61	88	64	38	11	20	49	602

第　4　章

各種統計

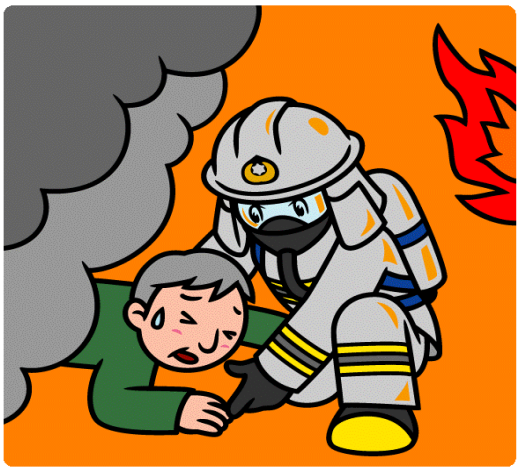
1　火　災　統　計(令和4年中)

火 災 件 数　　40　件

焼 損 棟 数　　37　棟

損害見積額　　50,421 千円

死　　者　　2　人

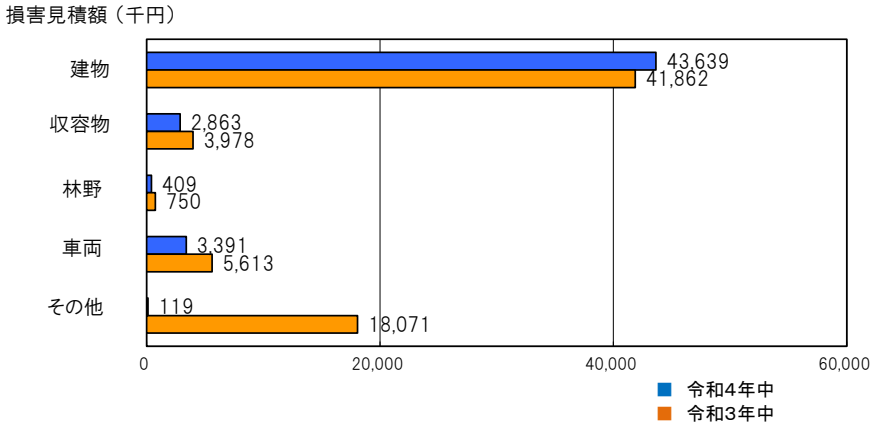


負　傷　者　　3　人

（1） 月別火災統計

（令和4年中）

区分 / 月別	火災件数					焼損棟数					焼損面積			り災世帯				り災人員	死傷者		損害見積額（千円）					
	建物	林野	車両	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計	建物（㎡） 床面積	建物（㎡） 表面積	林野(a)	全損	半損	小損	合計		死者	負傷者	建物 建物	建物 収容物	林野	車両	その他	合計
1月	1			3	4		1			1	235				1		1	2	1		5	5				10
2月	1			5	6	1				1	9										523	116				639
3月	2		1	1	4	5		2	4	11	585	33		5		6	11	27	1		32,516	2,231	350			35,097
4月	2	1		1	4			1	3	4	4	3	66								117		59		46	222
5月																										
6月	1			1	2				1	1															32	32
7月	1	1	1	2	5		1			1	43		9								1,605	64		3,000		4,669
8月	5			1	6	2		1	3	6	72			1		1	2	7		2	5,855	67		350	4	6,276
9月	2			2	4			1	1	2		13				1	1	7			453			11		464
10月	1		1		2				1	1																
11月	2				2	1	1		6	8	239			2		1	3	9		1	2,565	380		30	37	3,012
12月	1				1				1	1	3															
合計	19	2	3	16	40	9	3	5	20	37	1,190	49	75	8	1	9	18	52	2	3	43,639	2,863	409	3,391	119	50,421

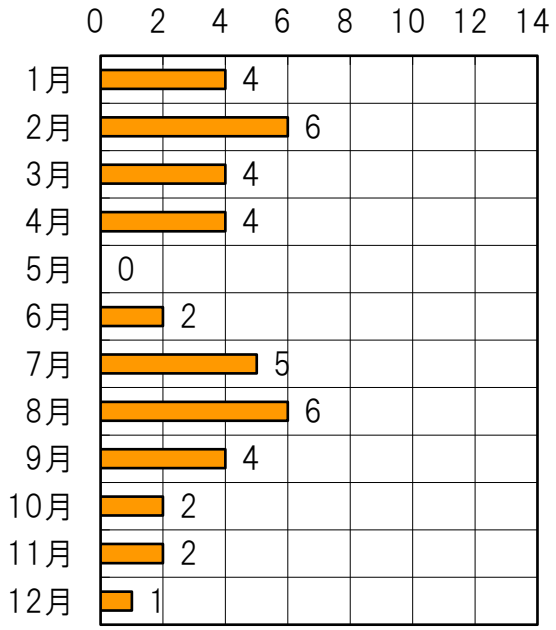


（2） 月別･曜日別火災件数

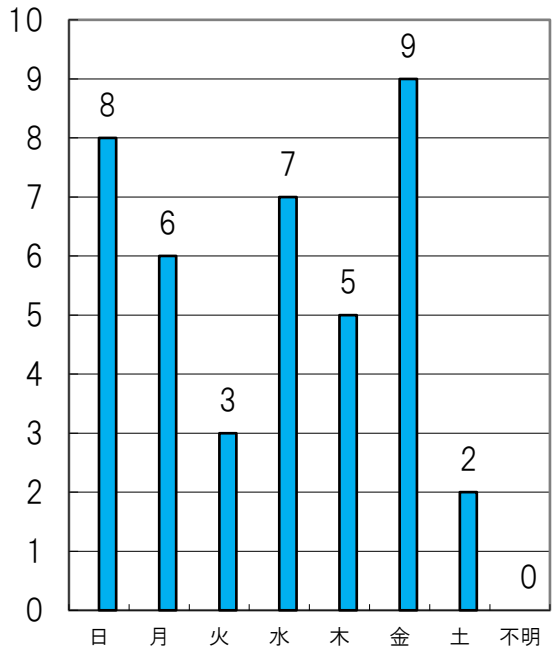
（令和4年中）

曜日 / 月別	日	月	火	水	木	金	土	不明	計
1月	1			1	1	1			4
2月	2		1	1	2				6
3月		1		1		1	1		4
4月	1	1	1	1					4
5月									
6月		1		1					2
7月	3		1		1				5
8月		1		1		4			6
9月					1	2	1		4
10月		2							2
11月	1					1			2
12月				1					1
合　計	8	6	3	7	5	9	2		40

月別火災件数

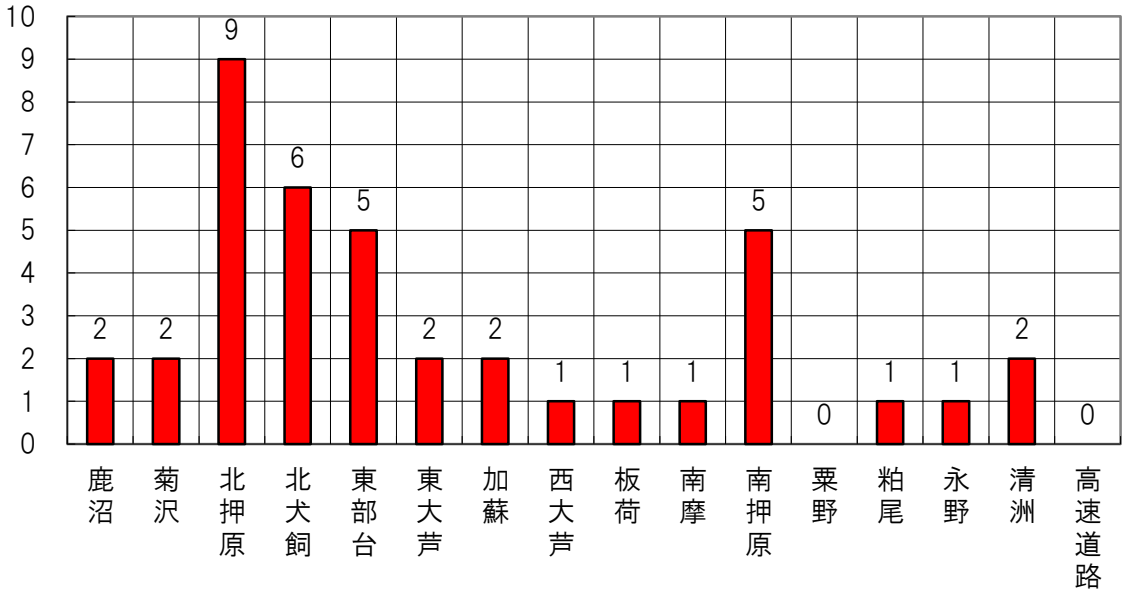


曜日別火災件数



（3） 地区別火災発生状況

（令和4年中）



（令和4年中）

区分 / 地区別	火災件数					損害見積額（単位:千円）					
	建物	林野	車両	その他	合計	建物		林野	車両	その他	合計
						建物	収容物				
鹿沼	1			1	2	32,516	2,229	350			35,095
菊沢			1	1	2						
北押原	7		1	1	9	1,605	64		3,000		4,669
北犬飼	1	1	1	3	6	2,565	380	59	380	83	3,467
東部台	5				5	6,425	69		11		6,505
東大芦	1			1	2	523	116				639
加蘇	1			1	2	5	5				10
西大芦				1	1						
板荷				1	1						
南摩				1	1						
南押原	3		1	1	5					36	36
粟野											
粕尾				1	1						
永野				1	1						
清洲		1		1	2						
高速道路											
合計	19	2	4	15	40	43,639	2,863	409	3,391	119	50,421

（4） 過去5年間火災損害状況

（平成30年～令和4年）

区分	年別		平成30年	平成31年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
火災件数	建物		16	17	16	16	19
	林野		1	3	4	6	2
	車両		6	8	4	6	4
	その他		12	18	7	14	15
	計		35	46	31	42	40
り災世帯	全損		11	5	2	5	8
	半損		0	2	1	0	1
	小損		6	4	6	1	9
	計		17	11	9	6	18
焼損棟数	全焼		14	8	8	14	9
	半焼		3	1	1	4	3
	部分焼		8	7	7	9	5
	ぼや		3	10	7	4	20
	計		28	26	23	31	37
焼損面積	建物（㎡）		1,585	1,804	1,960	1,367	1,190
	林野（a）		10	19	25	28	75
	1件平均	建物（㎡）	99	106	122	85	63
		林野（a）	10	6	6	5	38
損害見積額	総額（千円）		90,265	111,322	32,000	70,274	50,421
	1件平均（千円）		2,579	2,420	1,032	1,673	1,261
死者			2	4	1	1	2
負傷者			2	5	3	2	3

（5） 過去5年間月別損害見積額

（平成30年～令和4年）　（単位：千円）

年別 / 月別	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	平均
1 月	7,236	79,480	553	5,530	10	18,562
2 月	6,343	44		1,333	639	1,672
3 月	6,611	5,569	654	9,890	35,097	11,564
4 月	835	12,323	8,659	9,758	222	6,359
5 月	400	2,280		20		540
6 月	14,836	30		17,224	32	6,424
7 月			8,002	49	4,669	2,544
8 月	1,650	1,139	514	2,044	6,276	2,325
9 月	21,149		10		464	4,325
10 月	1,757	6	12,126	6,327		4,043
11 月	15,448	9,418	1,482	16,099	3,012	9,092
12 月	14,000	1,033		2,000		3,407
計	90,265	111,322	32,000	70,274	50,421	70,856

（6） 過去5年間月別火災件数

（平成30年～令和4年）

年別 / 月別	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	平均
1 月	3	8	2	6	4	5
2 月	5	2	5	7	6	5
3 月	4	11	5	4	4	6
4 月	4	5	3	4	4	4
5 月	2	5	3	2		2
6 月	3	2		4	2	2
7 月	1	1	1	3	5	2
8 月	2	5	3	5	6	4
9 月	4		2	1	4	2
10 月	4	2	3	3	2	3
11 月	2	2	3	1	2	2
12 月	1	3	1	2	1	2
計	35	46	31	42	40	39

（7） 過去5年間曜日別火災件数

（平成30年～令和4年）

年別 曜　日	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	平均
日	7	6	4	9	8	6.8
月	7	10	4	5	6	6.4
火	4	6	3	5	3	4.2
水	3	6	7	4	7	5.4
木	5	6	3	7	5	5.2
金	3	4	5	6	9	5.4
土	6	8	5	6	2	5.4
不明						
計	35	46	31	42	40	38.8

（8） 過去5年間風速別火災件数

（平成30年～令和4年）

年別 風速(m/s)	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	平均
0m/s		1		2	2	1.0
1m/s	11	10	7	9	11	9.6
2～3m/s	15	23	17	16	20	18.2
4～5m/s	7	10	5	10	4	7.2
6～9m/s	2	2	2	5	3	2.8
10～14m/s						
15～19m/s						
20m/s以上						
不明						
計	35	46	31	42	40	38.8

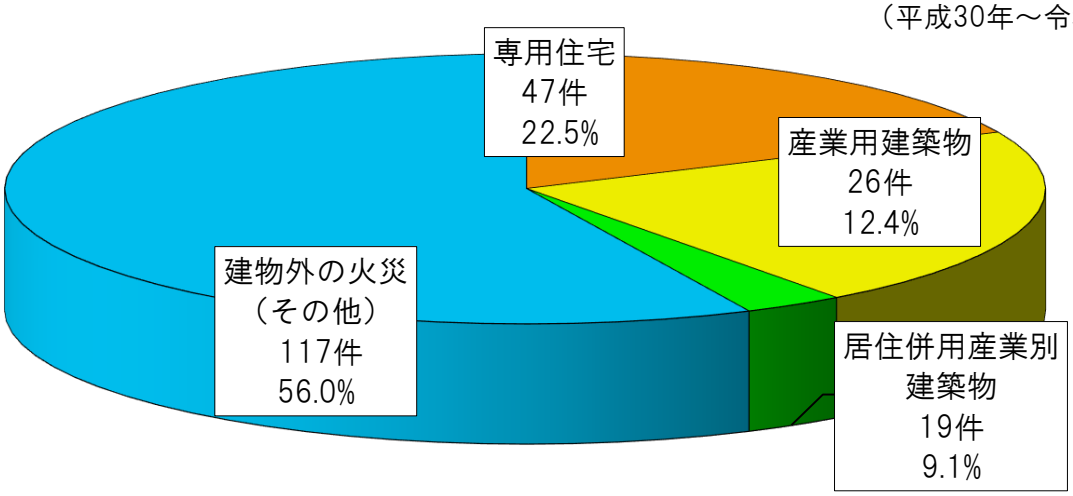
（9） 過去5年間時間帯別火災件数

（平成30年～令和4年）

年別 時間別	平成30年	平成31元年	令和2年	令和3年	令和4年
0時 ～ 1時	3	1	1	1	1
1時 ～ 2時		1	1		
2時 ～ 3時		1			
3時 ～ 4時	1	2		1	
4時 ～ 5時	2	1		2	
5時 ～ 6時	1				1
6時 ～ 7時			1		
7時 ～ 8時	1	1	2	2	1
8時 ～ 9時		1		2	1
9時 ～ 10時	1	3	2	2	4
10時 ～ 11時	1	6	6	2	
11時 ～ 12時	3	5	3	6	3
12時 ～ 13時	5	2	2	1	3
13時 ～ 14時	5	6	2	8	5
14時 ～ 15時	2	1	4	3	2
15時 ～ 16時	4	2	2	3	2
16時 ～ 17時	1	2		1	3
17時 ～ 18時	1		2	3	3
18時 ～ 19時	2	4		2	5
19時 ～ 20時	1	3	1	1	1
20時 ～ 21時		1	1		2
21時 ～ 22時	1	1		2	1
22時 ～ 23時			1		2
23時 ～ 24時		2			
不明					
計	35	46	31	42	40

（10） 過去5年間建物用途別火災件数

（平成30年～令和4年）



用途別 ＼ 年別			平成30年	平成31元年	令和2年	令和3年	令和4年
建築物	専用住宅		8	5	7	7	8
	居住併用産業別建築物	農林水産業		1			
		鉱工業					
		商業	1	1			
		サービス業					
		その他	1		2		
	産業用建築物	事務所			1		2
		店舗	1			1	
		工場・作業場	2	5	4	2	8
		倉庫	3	2	1	4	
		車庫		2			
		研究所					
		養畜舎				1	
		特殊対象物					
		その他			1	1	1
林野			1	3	2	6	2
車両			6	8	4	6	4
その他			12	18	9	14	15
計			35	45	31	42	40

（11） 過去5年間原因別火災件数

（平成30年～令和4年）

年別 原因別	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
たばこ	3	2		1	4
たき火	6	13	3	8	8
火遊び	1	1		1	
こんろ	3	1	4	2	
こたつ					
放火		2	6	1	2
風呂・かまど			1		
炉・焼却炉	1			1	1
ストーブ				3	
放火の疑い					
マッチ・ライター					2
煙突・煙道					
電灯電話等の配線	1	3	1	2	3
電気機器・装置配線器具	5	7	2	1	2
その他	6	12	8	15	10
不明・調査中	9	5	6	7	8
計	35	46	31	42	40

（12） 過去10年間の主な火災

損害見積額1,000 万円以上、建物焼損面積300㎡以上、死傷者3名以上のいずれかに該当する火災を収録

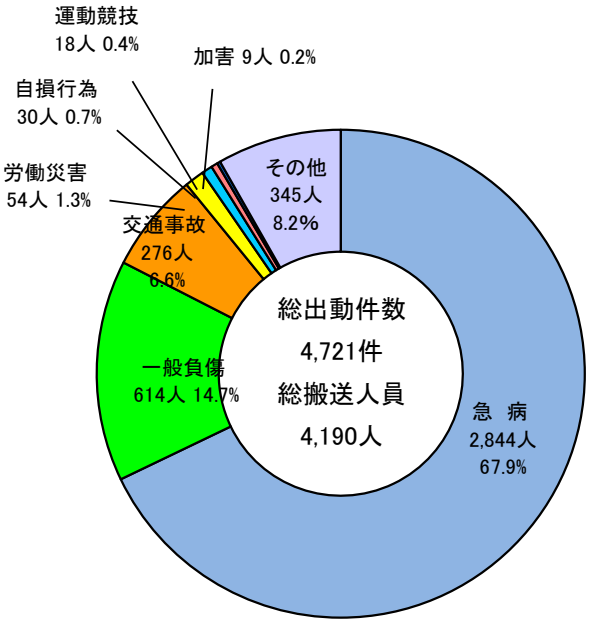
（平成25年～令和4年）

出火日時	出火場所	出火原因	焼損面積（㎡）	損害見積額（千円）	負傷者	死者
平成24年2月2日 23時16分	鹿沼市深程 一般住宅	不明	130	11,489		
平成24年3月13日 1時15分	鹿沼市口粟野 一般住宅	不明	239	14,156		
平成24年4月3日 1時15分	鹿沼市茂呂 作業場	不明	171	34,065		
平成24年4月8日 13時45分	鹿沼市下武子町 作業場	製綿機の火花	790	13,365	1	
平成24年8月9日 19時50分	鹿沼市下田町 店舗	コンデンサー	260	16,122		
平成24年10月10日 19時35分	鹿沼市深程 工場	バーナー	270	11,585		
平成25年2月21日 13時25分	鹿沼市上石川 一般住宅	配線器具	563	41,848	1	
平成25年8月12日 22時30分	鹿沼市武子 納屋	不明	294	10,915		
平成26年4月6日 19時30分	鹿沼市下石川 倉庫	自然発火	800	48,730		
平成26年5月11日 19時55分	鹿沼市茂呂 作業場	低圧進相コンデンサー	250	36,044		
平成26年12月30日 6時30分	鹿沼市亀和田町 工場	電気配線	360	14,414		
平成27年2月21日 13時45分	鹿沼市西茂呂4丁目 一般住宅	石油ストーブ	21	11,804	1	
平成27年5月31日 8時05分	鹿沼市茂呂 遊技場	不明	265	46,004		
平成28年1月26日 8時23分	鹿沼市千渡 一般住宅	ストーブ	92	33,355		

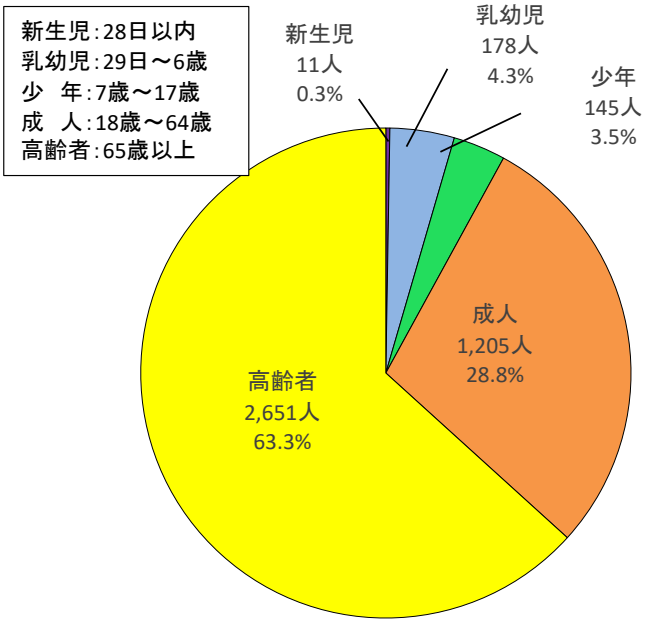
出火日時	出火場所	出火原因	焼損面積（㎡）	損害見積額（千円）	負傷者	死者
平成28年3月3日 15時30分	鹿沼市上永野 林野	焚火	187,000	37,189	1	
平成29年1月11日 20時00分	鹿沼市寺町 一般住宅	オイルヒーター	304	13,505	2	
平成29年3月19日 18時20分	鹿沼市上石川 事務所	不明	98	21,830		
平成29年4月15日 10時15分	鹿沼市高谷 工場	不明	3,309	44,242		
平成29年10月30日 6時45分	鹿沼市深程 工場	電気配線	762	44,007		
平成30年6月2日 4時15分	鹿沼市府所町 倉庫	不明	134	14,486		
平成30年9月16日 21時10分	鹿沼市深程 一般住宅	蚊取線香	284	17,923	1	
平成30年11月1日 5時30分	鹿沼市草久 茶屋	電気配線器具	155	15,448		
平成30年12月8日 18時25分	鹿沼市日吉町 店舗	こんろ	234	14,000		
平成31年1月9日 18時10分	鹿沼市栃窪 工場	電気配線器具	725	74,663		
平成31年4月10日 0時30分	鹿沼市中田町 貸店舗	不明	358	11,341	2	
令和1年11月26日 1時40分	鹿沼市上永野 一般住宅	不明	418	6,450		1
令和3年4月1日 18時40分	鹿沼市池ノ森 一般住宅	たき火	413	17,167		
令和3年6月21日 8時30分	鹿沼市さつき町 集塵機	粉体摩擦		17,167		
令和3年11月11日 11時00分	鹿沼市藤江町 一般住宅	不明	248	16,099		
令和4年3月21日 17時26分	鹿沼市寺町 一般住宅	たばこ	584	35,095		1

2 救 急 統 計（令和4年中）

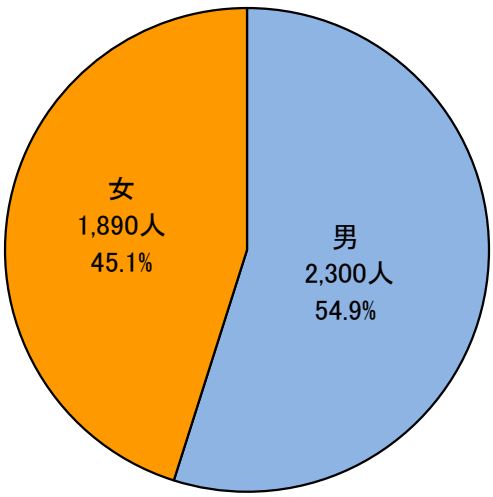
事故種別出動件数及び搬送人



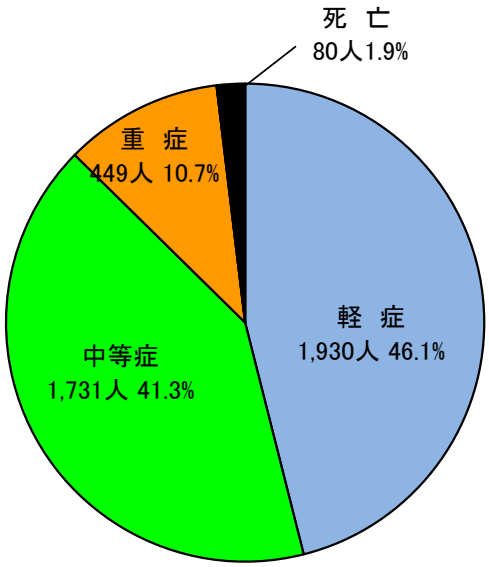
年齢区分別搬送人員



性別別搬送人員



傷病程度別搬送人員



（1） 過去5年間年別救急統計

（平成30年～令和4年）

区分＼年別			平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
出動件数			4,066	3,933	3,787	3,960	4,721
搬送件数			3,741	3,637	3,510	3,651	4,166
搬送人員			3,789	3,664	3,533	3,674	4,190
	男		2,024	1,933	1,892	1,902	2,300
	女		1,765	1,731	1,641	1,772	1,890
	死亡		65	55	59	69	80
	重症		450	429	347	417	449
	中等症		1,641	1,531	1,543	1,568	1,731
	軽症		1,627	1,647	1,584	1,620	1,930
	その他		6	2	0	0	0
	火災		2	3	3	3	2
	自然災害		1	1	0	0	1
	水難		1	1	1	1	3
	交通事故		380	318	298	293	276
	労働災害		52	34	39	45	54
	運動競技		23	12	6	5	18
	一般負傷		464	513	500	522	614
	加害		8	12	12	4	9
	自損行為		30	25	30	17	30
	急病		2,440	2,374	2,276	2,394	2,844
	その他	転院搬送	383	369	367	389	338
		その他	5	2	1	1	1

（2） 月別救急統計

（令和4年中）

区分＼月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	比率(%)
出動件数		385	359	353	343	336	382	439	495	382	402	390	455	4,721	100.0
火災		2	2	3	4	1	1	2	5	2	1	2	1	26	0.6
自然災害		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0
水難		0	0	0	1	0	1	1	2	0	0	0	0	5	0.1
交通事故		29	21	23	19	20	22	24	23	23	36	21	27	288	6.1
労働災害		7	4	5	3	4	3	9	4	2	8	1	4	54	1.1
運動競技		0	1	0	1	3	5	2	2	1	3	0	0	18	0.4
一般負傷		52	45	46	34	57	60	48	55	67	76	57	63	660	14.0
加害		0	0	5	1	1	1	1	1	1	1	2	2	16	0.3
自損行為		5	4	5	7	3	5	3	7	3	4	4	1	51	1.1
急病		258	248	234	238	217	254	322	365	254	239	264	322	3,215	68.1
その他	転院搬送	30	29	28	32	29	25	25	25	25	28	32	31	339	7.2
	その他	2	4	4	3	1	5	2	6	4	6	7	4	48	1.0
搬送人員		352	308	308	304	305	346	399	430	328	369	349	392	4,190	100.0
男		195	176	160	163	160	194	228	243	170	210	183	218	2,300	54.9
女		157	132	148	141	145	152	171	187	158	159	166	174	1,890	45.1
死亡		6	2	6	5	6	9	10	8	4	8	6	10	80	1.9
重症		46	37	36	39	40	39	33	31	36	33	44	35	449	10.7
中等症		151	148	129	135	125	126	156	185	133	135	146	162	1,731	41.3
軽症		149	121	137	125	134	172	200	206	155	193	153	185	1,930	46.1
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

（3） 年齢別救急統計

（令和4年中）

区分＼年齢区分		新生児 28日以内	乳幼児 29日～6歳	少年 7歳～17歳	成人 18歳～64歳	高齢者 65歳以上	計
搬送人員		11	178	145	1,205	2,651	4,190
死亡		0	0	0	9	71	80
重症		2	7	7	104	329	449
中等症		7	19	24	364	1,317	1,731
軽症		2	152	114	728	934	1,930
その他		0	0	0	0	0	0
火災		0	0	0	1	1	2
自然災害		0	0	0	1	0	1
水難		0	0	0	1	2	3
交通事故		0	5	27	157	87	276
労働災害		0	0	0	43	11	54
運動競技		0	0	12	6	0	18
一般負傷		0	40	18	103	453	614
加害		0	0	0	5	4	9
自損行為		0	0	0	23	7	30
急病		2	130	81	761	1,870	2,844
その他	転院搬送	9	3	7	103	216	338
	その他	0	0	0	1	0	1

（4） 時間帯別救急統計

（令和4年中）

区分＼時間帯別		時間帯別内訳												計
		0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	
出場件数		196	153	177	373	556	609	579	531	483	494	326	244	4,721
火災		1	0	3	2	4	1	2	3	2	4	3	1	26
自然災害		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
水難		0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	1	0	5
交通事故		5	4	7	26	51	34	32	42	28	36	14	9	288
労働災害		0	0	0	1	10	7	6	12	10	6	0	2	54
運動競技		0	0	0	0	2	4	3	6	0	1	2	0	18
一般負傷		21	5	9	41	83	90	95	83	86	74	40	33	660
加害		0	2	0	0	2	0	0	1	2	4	1	4	16
自損行為		1	5	0	3	6	6	10	3	6	7	2	2	51
急病		162	131	153	295	352	384	364	329	290	337	238	180	3,215
その他	転院搬送	4	3	2	3	42	78	61	49	55	20	13	9	339
	その他	2	3	2	2	4	5	5	2	3	4	12	4	48

（5） 地区別救急統計

（令和4年中）

区分＼地区別	鹿沼	菊沢	北押原	北犬飼	東部台	東大芦	加蘇	西大芦	板荷	南摩	南押原	粟野	粕尾	永野	清洲	計	高速道路	管外	合計
出動件数	1,420	565	478	495	708	137	67	47	72	147	160	127	65	78	129	4,695	22	4	4,721
火災	3	0	10	2	5	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	24	2	0	26
自然災害	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
水難	2	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5
交通事故	57	26	25	58	46	13	7	1	7	7	12	4	5	2	6	276	9	3	288
労働災害	2	6	6	18	3	3	0	0	1	5	1	4	1	1	3	54	0	0	54
運動競技	5	1	4	7	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	18	0	0	18
一般負傷	177	98	58	67	93	30	4	10	7	18	28	19	10	14	26	659	1	0	660
加害	4	3	2	4	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	16
自損行為	8	5	5	10	11	1	1	0	0	3	2	1	1	2	1	51	0	0	51
急病	957	405	350	296	460	86	53	34	57	106	107	96	48	58	92	3,205	10	0	3,215
その他 転院搬送	185	11	16	30	83	0	0	0	0	4	7	3	0	0	0	339	0	0	339
その他 その他	20	10	2	2	5	0	1	0	0	3	3	0	0	0	1	47	0	1	48
搬送人員	1,209	506	430	457	615	130	61	39	66	135	145	120	62	71	124	4,170	18	2	4,190

3 救 助 統 計

(1) 過去5年間年別救助統計

(平成30年～令和4年)

区分＼年別	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
救助出動件数	71	80	77	69	86
救助活動件数	23	39	37	38	48
救 助 人 員	24	42	38	40	43
救助活動人員	186	383	320	332	400
救助活動車両	49	104	83	88	103

(2) 事故種別救助統計

(令和4年中)

区分＼事故種別	火災	交通事故	水難事故	自然事故	機械による事故	建物による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他	計
救助出動件数	0	29	4	0	2	0	0	0	51	86
救助活動件数	0	11	2	0	1	0	0	0	34	48
救 助 人 員	0	11	2	0	1	0	0	0	29	43
救助活動人員	0	101	16	0	8	0	0	0	275	400
救助活動車両	0	25	4	0	2	0	0	0	72	103

4　災害統計

(1)その他災害出動件数

（平成30年～令和4年）

区分＼年別	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
危険物排除	40	45	47	39	42
燃焼物排除	1				
警戒警備	3	3	1	4	3
偵察	20	29	20	46	19
ガス漏洩	2		1	1	2
その他	5	7	4	6	3
合計	71	84	73	96	69

(2)危害予防出動件数

（平成30年～令和4年）

区分＼年別	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
蜂の巣駆除等	3	6	2	2	0
動物救助、駆除等	5	1	6	4	7
その他	1	2	8	6	8
合計	9	9	16	12	15

(3)風水害出動件数

（平成30年～令和4年）

区分＼年別	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
台風	1	3	3		
降雨	4	1	7	4	2
その他				1	1
合計	5	4	10	5	3

（4）PA連携出動件数

（平成30年～令和4年）

区分＼年別	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
救急隊支援	208	162	176	175	232
ドクターヘリ等支援	96	62	48	44	40
合計	304	224	224	219	272

第　5　章

消 防 団

1　消防団情勢

（1）消防団員の定数及び実員

（令和5年 4月 1日現在）

分団別＼階級		団長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班長	団員	支援団員	計
団　本　部	定　数	1	3	7		1	2	12	10	36
	実　員	1	3	7		1	2	11	0	25
第 1 分 団	定　数			1	1	3	6	27	10	48
	実　員			1	1	3	6	19	2	32
第 2 分 団	定　数			1	1	4	8	36	10	60
	実　員			1	1	4	8	35	10	59
第 3 分 団	定　数			1	1	4	8	37	10	61
	実　員			1	1	4	8	38	10	62
第 4 分 団	定　数			1	1	5	10	38	10	65
	実　員			1	1	5	10	38	15	70
第 5 分 団	定　数			1	1	3	6	27	10	48
	実　員			1	1	3	6	27	10	48
第 6 分 団	定　数			1	1	3	6	25	10	46
	実　員			1	1	3	6	24	7	42
第 7 分 団	定　数			1	1	3	6	25	10	46
	実　員			1	1	3	6	23	12	46
第 8 分 団	定　数			1	1	3	6	30	10	51
	実　員			1	1	3	6	26	10	47
第 9 分 団	定　数			1	1	3	6	27	10	48
	実　員			1	1	3	6	22	9	42
第10分団	定　数			1	1	4	8	28	10	52
	実　員			1	1	4	8	27	10	51
第11分団	定　数			1	1	4	8	36	10	60
	実　員			1	1	4	8	37	10	61
第12分団	定　数			1	1	4	8	34	10	58
	実　員			1	1	4	8	33	8	55
第13分団	定　数			1	1	2	4	25	10	43
	実　員			1	1	2	4	27	10	45
第14分団	定　数			1	1	3	6	27	10	48
	実　員			1	1	3	6	27	10	48
計	定　数	1	3	21	14	49	98	434	150	770
	実　員	1	3	21	14	49	98	414	133	733

（2） 分団別の人口･世帯数･団員数

（令和5年 4月 1日現在）

区分 / 分団別	人 口	世帯数	団員数		団 員	団員1人当り	
			定 数	実 員	平均年齢	人 口	世帯数
団 本 部			36	25	46.9		
第 1 分 団（ 鹿 沼 ）	22,550	10,112	48	32	42.3	705	316
第 2 分 団（ 菊 沢 ）	13,736	5,822	60	59	35.3	233	99
第 3 分 団（ 北 押 原 ）	11,085	4,571	61	62	35.5	179	74
第 4 分 団（北犬飼･東部台）	25,704	11,142	65	70	40.8	367	159
第 5 分 団（ 東 大 芦 ）	2,943	1,184	48	48	37.1	61	25
第 6 分 団（ 加 蘇 ）	1,748	731	46	42	43.9	42	17
第 7 分 団（ 西 大 芦 ）	682	319	46	46	43.2	15	7
第 8 分 団（ 板 荷 ）	1,566	682	51	47	39.9	33	15
第 9 分 団（ 南 摩 ）	2,816	1,167	48	42	40.0	67	28
第 10 分 団（ 南 押 原 ）	3,917	1,587	52	51	38.0	77	31
第 11 分 団（ 粟 野 ）	2,718	1,100	60	61	43.0	45	18
第 12 分 団（ 粕 尾 ）	1,280	531	58	55	40.5	23	10
第 13 分 団（ 永 野 ）	1,025	462	43	45	41.8	23	10
第 14 分 団（ 清 洲 ）	2,412	989	48	48	41.7	50	21
計	94,182	40,399	770	733	40.7	128	55

（3） 在職年数別消防団員数

（令和5年 4月 1日現在）

5 年 未 満	5 年 以 上 10 年 未 満	10 年 以 上 15 年 未 満	15 年 以 上 20 年 未 満	20 年 以 上 25 年 未 満	25 年 以 上 30 年 未 満	30 年 以 上	計
152	243	180	98	48	11	1	733

（4） 年齢別消防団員数

（令和5年 4月 1日現在）

20 歳 未 満	20 歳 以 上 25 歳 未 満	25 歳 以 上 30 歳 未 満	30 歳 以 上 35 歳 未 満	35 歳 以 上 40 歳 未 満	40 歳 以 上 45 歳 未 満	45 歳 以 上 50 歳 未 満	50 歳 以 上 55 歳 未 満	55 歳 以 上 60 歳 未 満
0	13	60	117	181	146	115	52	31

60 歳 以 上	計	平 均 年 齢
18	733	40.7

（5） 消防団員の報酬･手当

（令和5年 4月 1日現在)(単位:円）

区分 / 支給単位 / 階級	報酬	出動報酬		警戒及び訓練	
	年 額	日 額	日 額	1 回	
団　　長	213,000	※1 ※3 4000	※2 ※4 8000	2,000	※1 1日あたりの災害活動時間が7時間45分未満の場合 ※2 1日あたりの災害活動時間が7時間45分以上の場合 ※3 7時間45分未満で2暦日に渡る場合は、活動開始時刻が属する日で支給する。 ※4 7時間45分以上で2暦日に渡る場合は、日を跨いで7時間45分以上に達した時刻から2日目支給分の活動時間を起算する。
副　団　長	150,000				
分　団　長	105,000				
副 分 団 長	77,000				
部　　長	63,000				
班　　長	50,000				
団　　員	46,000				
支 援 団 員	5,000				

（6） 消防団員の出動状況

（令和4年中）

区分 / 回数･人員	火災	うち林野火災	風水害等の災害	演習・訓練等	広報・指導	特別警戒	捜索	誤報等	その他	計
出動回数	34	1	2	67	56			3	51	213
出動延人員	680	21	23	1,973	1,806			27	715	5,224

2 消防機械器具

(1) 消防機械器具配置状況

(令和5年 4月 1日現在)

種別 / 消防団別	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ車(積載型)	小型動力ポンプ車(搬送型)	受令機	その他の車両
団本部		1	1	4	2
第1分団	3			3	
第2分団	2	2		4	
第3分団	2	2		4	
第4分団	3	2		5	
第5分団	2	1		3	
第6分団	2		1	3	
第7分団	1	1	1	3	
第8分団	1	1	1	3	
第9分団	3			3	
第10分団	1	3		4	
第11分団	2	2		4	
第12分団	2	1	1	4	
第13分団	1	2		3	
第14分団	3			3	
計	28	18	5	53	2

(2) 消防車両等配置状況の経過

(平成31年･令和元年度～令和4年度)

車両種別 / 年度		平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度末
消防ポンプ自動車		1(1)				28
小型動力ポンプ	積載車	(2)	1			18
	搬送車	1(1)				5
その他						2
計		2(4)	1			53

( )内数は廃棄数

（3） 消防車両等の現勢

（消防ポンプ自動車）

（令和5年4月1日現在）

所　　属	車　　名	年　式	馬　力	使用年月	備　　考
第 1 分 団 第 1 部	トヨタ	H18	150	17.1	A2級
〃　　第 2 部	イスズ	H30	150	5.0	〃
〃　　第 3 部	トヨタ	H20	150	15.0	〃
第 2 分 団 第 3 部	トヨタ	H25	150	10.1	〃
〃　　第 4 部	ニッサン	H8	155	26.5	〃
第 3 分 団 第 2 部	トヨタ	H28	150	7.0	〃
〃　　第 3 部	トヨタ	H19	150	15.5	〃
第 4 分 団 第 1 部	トヨタ	H12	135	23.0	〃
〃　　第 3 部	トヨタ	H25	150	10.1	〃
〃　　第 5 部	トヨタ	R2	144	3.0	〃
第 5 分 団 第 1 部	トヨタ	H12	135	23.0	〃
〃　　第 2 部	トヨタ	H18	150	16.6	〃
第 6 分 団 第 1 部	ニッサン	H8	155	26.5	〃
〃　　第 3 部	トヨタ	H9	135	25.4	〃
第 7 分 団 第 2 部	トヨタ	H25	150	9.4	〃
第 8 分 団 第 3 部	トヨタ	H9	135	25.4	〃
第 9 分 団 第 1 部	トヨタ	H18	150	16.6	〃
〃　　第 2 部	ニッサン	H7	155	27.5	〃
〃　　第 3 部	トヨタ	H20	150	15.0	〃
第 10 分 団 第 1 部	日　野	H23	150	11.4	〃
第 11 分 団 第 1 部	トヨタ	H19	150	15.5	〃
〃　　第 2 部	トヨタ	H18	150	16.6	〃
第 12 分 団 第 1 部	イスズ	H7	140	27.4	〃
〃　　第 2 部	トヨタ	H27	150	8.2	〃
第13分団第2部第1班	イスズ	H11	140	23.5	〃
第 14 分 団 第 1 部	イスズ	H10	140	24.5	〃
〃　　第 2 部	トヨタ	H18	150	16.6	〃
〃　　第 3 部	イスズ	H15	140	19.3	〃

（小型動力ポンプ積載車）

（令和5年4月1日現在）

所　　属	積　　載　　車					小　　型　　ポ　　ン　　プ				
	車　名	年式	馬力	排気量（cc）	使用年月	種　類	年式	馬力	使用年月	備　考
団　本　部	ミツビシ	H7	94	2,835	27	シバウラ	H7	54	27	予備車B2級
第 2 分 団 第 1 部	トヨタ	H31	144	2,982	4	トーハツ	H31	30	4	B2級
〃　第 2 部	トヨタ	H27	144	2,982	8.2	シバウラ	H27	46	8.1	〃
第 3 分 団 第 1 部	トヨタ	H18	98	1,998	17.1	シバウラ	H18	62	17.0	〃
〃　第 4 部	ニッサン	H9	91	1,990	25.6	トーハツ	H25	40	9.3	〃
第 4 分 団 第 2 部	ニッサン	H8	91	1,990	26.3	シバウラ	H8	43	26.3	〃
〃　第 4 部	トヨタ	H31	144	2,982	4	シバウラ	H31	43	4	〃
第 5 分 団 第 3 部	トヨタ	H10	88	1,990	24.6	シバウラ	H12	54	22.5	〃
第 7 分 団 第 1 部	ニッサン	H12	85	2,660	22.4	シバウラ	H12	54	22.4	〃
第 8 分 団 第 1 部	トヨタ	H19	98	1,998	15.5	シバウラ	H19	62	15.4	〃
第 10 分 団 第 2 部	いすゞ	H27	110	2,999	8.1	トーハツ	H27	30	8.1	〃
〃　第 3 部	トヨタ	H25	144	2,982	9.4	シバウラ	H25	62	9.4	〃
〃　第 4 部	いすゞ	H29	110	2,999	6.0	シバウラ	H29	30	5.11	〃
第 11 分 団 第 3 部	トヨタ	H30	136	4,009	5.0	シバウラ	H30	43	5.0	〃
〃　第 4 部	ニッサン	H9	85	2,663	25.6	シバウラ	H9	40	25.5	〃
第 12 分 団 第 4 部	いすゞ	H29	110	2,999	6.0	シバウラ	H29	30	5.11	〃
第 13 分 団 第 1 部	ミツビシ	H8	94	2,835	26.4	シバウラ	H8	54	26.4	〃
〃　第 2 部 第 2 班	ニッサン	H9	85	2,663	25.6	シバウラ	H9	40	25.5	〃

（小型動力ポンプ搬送車）

（令和5年4月1日現在）

所　　属	搬　　送　　車					小　　型　　ポ　　ン　　プ				
	車　名	年式	馬力	排気量（cc）	使用年月	種　類	年式	馬力	使用年月	備　考
団　本　部	ミツビシ	H12	48	650	22.4	シバウラ	H12	54	22.4	予備車 B2級
第 6 分 団 第 2 部	ダイハツ	H26	53	650	9.0	トーハツ	H26	30	9.0	B2級
第 7 分 団 第 3 部	ダイハツ	H10	42	650	24.6	シバウラ	H10	54	24.6	〃
第 8 分 団 第 2 部	ダイハツ	H29	53	650	6.0	シバウラ	H29	30	6.0	〃
第 12 分 団 第 3 部	ダイハツ	R2	53	650	3.2	トーハツ	R2	30	3.2	〃

（消防団防災活動車）

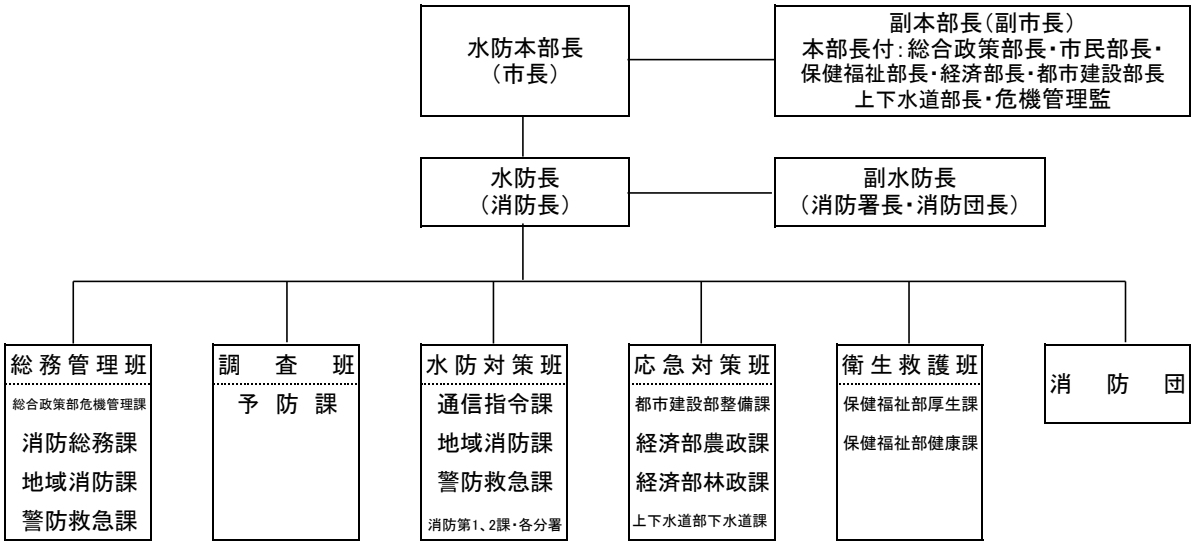
（令和5年4月1日現在）

所　　属	車名	年式	馬力	排気量（cc）	使用年月	備　　考
団　本　部	ミツビシ	H26	170	2,350	8.3	団活動1号車
女性部（さつき隊）	ニッサン	H29	49	650	5.3	団活動2号車

第　6　章

水　　防

1 組 織



2 水防本部各班の分担事務

班名	班長	班員	分担事務
総務管理班	消防本部警防救急課長	危機管理課職員 消防総務課職員 地域消防課職員 警防救急課職員	1 本庁各部との連絡調整に関すること 2 災害対策本部（設置された場合）との連絡調整に関すること 3 水害の集計及び報告（県・国）に関すること 4 水防各班との連絡調整に関すること 5 消防団及び水防協力団体との連絡調整に関すること 6 水防経費・水防器具資材の調達に関すること 7 水防協議会及び水防計画に関すること
調査班	消防本部予防課長	予防課職員	1 被災箇所の調査報告に関すること
水防対策班	消防署消防第1、2課長	通信指令課職員 地域消防課職員 警防救急課職員 消防第1、2課・各分署職員	1 関係機関に対する通報連絡に関すること 2 気象通報の受理・報告に関すること 3 水害情報の収集・即報（県）に関すること 4 消防機関の出動に関すること 5 水防活動及びその指揮監督に関すること 6 出動隊との連絡調整に関すること 7 水防器具資材・人員の輸送に関すること
応急対策班	都市建設部整備課長	整備課職員 経済部農政課職員 経済部林政課職員 上下水道部下水道課職員	1 道路等の通行の確保及び道路情報の関係機関等への連絡に関すること 2 水防工事（危険箇所）に関すること 3 被災箇所等の応急措置（工事）に関すること 4 水利組合との連絡調整に関すること 5 水門調整に関すること 6 下水道に関すること
衛生救護班	保健福祉部健康課長	厚生課職員 健康課職員	1 被災者の救護・支援、被災地の衛生及び日赤業務に関すること
消防団	副団長	消防団員	1 水防巡視・警戒及び水防活動に関すること 2 出動隊との連絡調整に関すること

3 水防用資機材の備蓄状況

（令和5年4月1日現在）

設置場所	責任者	水防器具																				水防資材					
		のこぎり	なた	スコップ	つるはし	唐くわ	かけや	ペンチ	金づち	おの	鉄線切り		ハンマー		バール	まんのう	じょれん	しの	照明器具	救命胴衣	救命ボート	土のう袋	鉄線（kg）	杭	防水シート	砂（㎥）	土のう（袋）
											大	小	大	小													
鹿沼市消防署	消防署長	30	25	70	7	7	15	13	10	12	5	2	10	3	5	4	10	45	15	80	1	10,000	600	700	31	15	1,000
粟野分署	粟野分署長	10	5	10	2	2	2	2	1	2	3	1	2				2	8	5	30	1	5,500	150	110	15	2	250
東分署	東分署長	5	5	6	1	2	4	1	1	2	1	1	1	1			2	5	3	8	1	600	25	30	7		150
北分署	北分署長	5	3	5	1	2	3	1	1	2	1	1	1	1			2	5	2	8	1	1,150	45	33	9		150
北部防災コミュニティセンター	第2分団長	5	5	5	1	2	3	1	1	2	1	1		1				5	2			1,200	15	30		1	35
第5分団第2部車庫	第5分団長	5	3	4	1	2	2	1	1	2	1	1		1				3	2			1,000	50	30		1	
第6分団第2部車庫	第6分団長	5	3	5	1	2	2	1	1	2	1	1		1				3	2			1,000	20	30		1	
西大芦コミュニティセンター	第7分団長	5	3	8	1	2	2	1	1	2	1	2		1				3	2			1,100	40	30		1	
板荷コミュニティセンター	第8分団長	5	5	8	1	2	3	1	1	2	1	1		1				3	2			400	20	30		1	
南摩コミュニティセンター	第9分団長	10	5	10	3	5	4	1	1	2	1	1		1				3	2			1,300	50	70		1	50
合　　計		85	62	131	19	28	40	23	19	30	16	12	14	11	5	4	16	83	37	126	4	23250	1015	1093	62	23	1635

火災・救急は１１９

消防テレフォンサービス

（自動音声応答式　２４時間３６５日対応）

０５０　５５３０　１５１４

≪ご案内内容≫

医療機関情報や災害発生時には災害場所の情報などをお伝えしています。

令和５年６月刊行

編集発行　鹿沼市消防本部

〒３２２－００４５
栃木県鹿沼市上殿町５２０－１
ＴＥＬ（０２８９）６３－１１５３
ＦＡＸ（０２８９）６３－５５２０